會報

七

尼道市立高等女學校同窓會

尼道市立高等女學校同窓會之印

目次

▽口繪
第九回卒業生
紀念式及びバザー

▽感想
所感　佐藤[illegible]都知
十年の回顧と感謝　岡田タヅ

▽講演
今後の日本婦人　横山榮次先生

▽報告
給品部設立の趣旨　本部幹事
見學團及研究會成立に就て　本部幹事
學校訪問給品部視察　壽美谷多賀子
東京支部より　東京支部幹事

▽雜錄
バザー記事　東一枝
慰勞會記事　本部幹事
給品部記事　同
同窓會總會記事　同
郵便局見學記事　同

▽消息
每校だより
舊師消息
亡き人を偲びて
會員消息
雁のつて

▽同窓會計會報告

▽同窓會會則

▽編輯だより

▽會員名簿

三浦
菊田
亀井
京田
三條
大塚
堀部
佐藤
[illegible]
田辺
吉の
市川
秋山
今井
河地
岡田
[illegible]

創立十週年記念式場

創立十週年記念同窓會バザー賣店

會報第七號

感想

所感

佐藤良都知

人は家庭に生れ、家庭に長じ、家庭に死にます、人の生涯を通じて最も幸福な樂園は、最も安全な城郭は實に家庭であり、そして家庭の女王は諸姉であります。

名利の巷には暴風吹き荒びて暫くも止むことはないとしても家庭は春風駘蕩百花長へに爛漫として居ます。人もし外界の戰場に疲勞し負傷した時にも之に休息慰安を與へ平癒恢復をはかるは實に家庭であり主婦であります。

女子の靜肅なる溫容、盡くることなき愛情、高潔なる犧牲的精神は、或は慰安となり、或は激勵となりて顯はれ、人生の向上發展に貢献し、人生至高の理想たる平和に福音を與ふるものであります。

各種の罪惡が家庭の缺陷に基く事の多大なることは統計の明に示す處であり、古今東西の偉人傑士が多く賢母に育まれたことは史の正しく證明する處であります、身體虛弱なるヴイクトル、ユーゴーが能く八十四の高齡を保ち佛國文豪の華と稱せられたのも母の慈愛により、我小楠公の忠誠の一半は亦母の薫陶に基くといひます。

此の如き麗しき天性を有し、此の如き貴重なる任務を天職とする女子の榮譽も亦大であります。諸姉は常に確固たる信念を持し、道德上智識上の識見と共に高尙なる情操、强固なる意志を養ひ自己品性の向上に力めらるゝ事は一身一家の幸福のみならず、社會國家に奉ずる所以と存じます、一言所感を述べて諸姉の多幸多福を祈ります。

十年の回顧と感謝

岡田タヅ

漣よする玉の浦、翠したゝる瑠璃が嶺に聳えてたてる學びの舍の其初びらきめでたしや、と一齋に唱ひながらつつむにあまる喜びをかたみに笑顏にかはしつゝも鶴灣教育の礎なれりと衷心から祝福しあつた

のは只此間のやうに思はれますが已に一昔十年過去の語り草とはなりました。

水の流れと人の身は、昨日の淵は今日の瀬とやら變轉極りなきは浮世の嵯峨とは申しながら靜に思を當時に運んで過ぎこし方を回想いたしますれば轉た今昔の感に堪へないのでございます。

先日書籍戸棚のお掃除をして居りますと大切に紙に包んで仕舞込んである大きな寫眞を見いだしました其中の一葉こそは開校當時の記念のもので紫匂ふ藤の花が天井からぶら下つてピアノが一蓙其片隅に据えられてあります其正面には時の校長佐藤寅三先生と當時の市長の君西村益三樣とがフロック姿いかめしうおならびになつて居らつしやる所を撮影したものでございました其場所は只今の二階の裁縫室で一回二回の卒業生の方々は此日の記憶が何か腦裡に浮びませう。あゝ此藤の花此ピアノ思ひ出多いものでございます。

開校當時生徒の數は一年二年の二組で百名たらずのものでございました校舍は元の小學校其まゝのもので、どの教室もガランとした廣い中に一つの教授用具とてもない其はくあはれなものでございました其後只今の講堂が建ち寄宿舍が出來上り割烹室がとゝのひまして漸次其面目が改り現在生徒四百名ギッシリと詰め込まれて身動きさへ出來ない所へ今年は又給品部や補習科の設置やらさては五十名定員の寄宿舍は其倍數の入舍希望者があるといふ有樣にトーくー部の舍生は遙か西御所の濱邊へひつこさなければならないといふ有樣です。

其かみ校長先生が鞋がけで近在にお出かけになり入學生の勸誘に御努力遊した事柄や、一とせ應募生の數が一人減つたために定員に足らないので折角の試驗準備も無用となつて無試驗入學といふみじめさにくやしい思ひをした事などは今は昔の夢と消えて今年あたりは定員超過三倍余威張つたものでございます。げにや十年此間歷代校長先生の御苦心御奮闘は素より今はちりぢりに東の空や西の果に多大の貢献を殘されて御榮轉或は御退職遊されました諸先生方の御努力は大したものでございました。御一緒に土運びして作りあげた花壇には昔に變らで咲き匂ふ白木蓮やおしろい花しおんの花も一本二本今に殘つて春秋めぐり來る其度に手植し人の偲ばれます。年々歳々花相似たり歳々年々人同じからず果しなき感慨

は其からそれへいつも腦裡にさまよひます。さても一昔集散離合の世の中とはいへ明治四十二年の開校當時から本年二月の記念日まで殘りましたのは私只一人、寸功もない其者が盛なる謝恩の式をあげられたさへ恐多く存じますに結構なる記念の品までいたゞきました事は誠に身にあまる光榮を感じまするとと同時に功勞多かりし諸先生方に對し今日の幸福を獨占する事の當らざるをお恥しく存じます。

而も此間大なるあやまちもなくて今日まで余命あらしめられましたのは偏に歷代校長先生の御懇なる御導きと新舊諸先生の御援助の結果とでございます又此度此光榮に浴するの機を與へられましたのは全く同窓會幷に校友會員諸子の御同情の賜でございます。

茲に十週年を回顧するに當りまして謹んで諸先生方永年の御厚誼を謝し會員諸子に感謝の意を表する次第でございます。

附記御遠方に居らつしやる同窓生諸君に一々御禮狀を差出しましたが御住所がお變りになつたゝめか多數返却されました略儀ながらこゝに余白をかりまして謹んでお禮を申上ます

講演

大正九年七月廿五日
同窓會總會當日奈良女子高等師範學校長槇山榮次先生の御講演の大意を記述したものであります（東一枝）

今後の日本婦人

槇山榮次先生

十四年前私がかつてアメリカに居りました時或米國婦人を訪問しました。その人は教育に關係ある婦人で家の五階目に住つて居ました。そこへ行くのにエレベーターでもつて下から上へ運んでくれます。丁度その時二人の婦人がゐました。エレベーターボーイは黑坊でした。私は帽子を被つたまゝで乘つてゐましたボーイは私に向つて「ハット〳〵」といひました。私はどうしていふのかわからぬそのまゝでゐた。二人の婦人が三階目で下りた時ボーイは「米國では婦人の前で脫帽しなければならぬといふ事を知らないか」といつて油をしぼられた事がありました。日本では之を反對に汽車中でも婦人前で平氣で煙をのんでゐる。そしてその煙を顏等へはきかける。西洋と日本とはかやうに男子の婦人に對する態度が違ふ。

西洋では婦人の人格を重ずるが我國ではうでない併し西洋でも婦人は弱いもの男子の力をかりなければ獨立しられないものといふ事は東洋と變らない。英國の學者ガルトンが「百人の男と百人の女と一緒にして二百人の中から強いもの百人を選び出すといふ事になると男の最も弱い者七人女の最も強い者七人を出せば百人の力の強い者を選んだ事になる」男子百の中九三女子は僅に七人が男子の仲間入りをする事が出來るのである。又体育の才で有名なヤーニ氏は「天の婦人を作つたのは働かしむる爲でもなく學問させる爲もなくおだやかなそして情的に動かしむる爲に作つたのである」といつた。然るに歐洲の大戰爭の結果男子が婦人を見る態度が變つて來た。即ち婦人も男子と同樣に仕事の出來るものであるといふ考へがヨーロッパのみでなく世界一般に擴がつて來た。戰爭中は男子に代つて力や頭を要する仕事も女の手一つで仕上げて來て女子も男子と同樣に働き得るものであるといふ事を事實に示した。或者は巡査となり消防婦車掌甚しきは煙突の掃除婦となつて働いたのであります。佛國の或野戰病院では醫者看護婦は勿論雜役夫に至るまで女ばかりで働いてゐました。英國に於て一九一八年の終り頃男に代つて働いた婦人の數は一五一六〇〇〇人の多きに達した。又デーリーメールといふ新聞によれば婦人にして公務についてゐる者の數は戰爭の始めに於ては六六〇〇〇人位であつたが戰爭の終り頃は二二四〇〇〇人の四倍に達した。英國のみでなく佛獨等も同樣である。斯の如く婦人が男子の仕事を立派に仕遂げて來たのであります。うして男子の女子を見る態度が變つて來た。米國に於ても又東洋に於ても同樣になつて來たのであります。そして女子は男子の如く社會に役立つものである婦人に制限を加へる事はない解放して政治上にも關係してもよいといふ樣になつた婦人に選擧權を與へてある國はノールウェー、デネマー、フインランド東洋のニューヂーランド、オーストラリアに過ぎなかつたが戰爭後婦人に參政權を與へた國が段々多くなつた。英國でも選擧法を改正し男子は二十一才になれば選擧權を得女子も三十才になると選擧權を得られる樣になつた。その結果一六〇〇〇〇〇〇人の中六〇〇〇〇〇〇人の婦人が選擧權を持つやうになつて、而も婦人の一人は代議士に選はれた。獨逸は御承知の通り今迄は平凡であつ

たが共和國になつてから三六名の婦人代議士が出來た。代議士のみでなくドクトルの學位を授けられた者もある。矢張リ男尊女卑の風があつたが戰爭後にはベルリン大學の助教授になつた婦人、判事になつた婦人もある。佛國でも婦人の活動範囲が擴げられ巴里には婦人の爲に高等商業學校が設けられた。斯の如く婦人の爲に利益を計る事が各國に盛になつた我國でも東京、京都等の大學が婦人にも聽講生として入學を許すやうになり一方では高等女學校令が改正せられて高等科が設けられる樣になり、男子の高等學校と同等の教育を受けられる樣になつた。其他に於ても女子が用ひられる樣になつて宮崎縣では女子の小學校長が出來、東京府では女子の市視學を置く事になりました。斯の如き時世に當つて如何なる主義方針を以て之に對すべきかは頗る考へなければならない事であります。私は之に對して三つの異つた意見を持つてゐます。

一、女子の働きは一家の中に限るのである。人の妻として母としての務を果せばよいといふのであります

二、女子の働きは男子と同等にすべきである。同じ人間であるから男女の區別をつけてはいけない

三、女子の活動すべき所は家庭である。妻として母としての務をなしその余力を以て社會に活動すべきである。

私はこの三つの意見について少しお話してみたいと思ひます。

第一の保守説は今日には時代おくれの意見である。昔のやうに外國と交通しない時なら兎に角今日のやうな時代に於ては一家を整理するとは當然であるが家庭以外に何物もしないといふ事は時勢に適さない考へであります。婦人は室内にのみゐるといふのは中流以上の一部で下層社會では夫婦共稼ぎをしてゐる。事實としては多數の婦人が職業的活動をしてゐるのである。從來我國に於ても之等の問題を議論する人は中流以上の家庭を考へてゐる。あまねく一般の女子について考へたならこんな説はない筈である第二の男女無差別論は人間の自然を無視してゐると共に家庭生活を無視してゐます。男女は自然に於て異つてゐる。例へば女子の感覺は男子のそれより鋭い。これは實驗的に證明する事が出來る。實驗によれば男子は三五ミリメートル女子は二五ミリメート

ルである。身体上につきましても男子より皮膚がこまやかで脂肪が多い。形が圓みがかつてゐる。脉膊呼吸も男子より速かである。又聲が高い。体の割合に頭が大きい。そんなやうな事も生理學方面で云つてゐる斯の如く身体上に於て異つてゐるのに同樣に働かしむる事は間違つゐる。男子との差として擧げられてゐるものは澤山あるが元來はそんな區別せらるゝものではない。女は斯くあるべきものとして歴史上の習慣として行はれてきた。自然に於ては男女異つてゐるものではないといふものがあるかもしれないが男女の差すべてが歴史上より生じたのであるといふ事は出來ない。西洋人でも東洋人でも歴史習慣のよくないものは改めてゆかねばならないが家庭生活を無視する事は出來ない。家庭の仕事を打破つて育兒家事は分業として家庭の仕事を全然やらないといふ事は空想であつてそれは出來ない。西洋の孤兒院では從來の樣な仕方では宜しくないといふので孤兒を家庭に依託するといふ議論が出た。兵營寄宿舍等に於ても家族主義を基とする樣になつた。我國でも近頃軍隊に於て家族生活に似た方法を陸軍省がとつてゐる。斯くの如く共同生活を家族生活に似させ樣とするのが一般の輿論になつて居る。西洋では個人主義が行はれ我國では家族主義が行はれて居る然るに歐洲大戰の結果家族を基礎としなければならないといふ事がいはれるやうになつた。スイスでは民法を改正して家族主義によつて造らへた

第三の折衷說は女子の活動を家庭にのみ限るのは偏屈である。又男子と同樣に仕事をすることは過劇である。これを折衷すれば第三說をとらねばならない一家の仕事をする事は又大なる任務である。此等の婦人に對して二重の仕事をさせる事は容易でない事である。然し婦人は一方には家庭の仕事をし又社會に於て活動する餘裕を造らなければならぬ即ち家庭改善をなし教育法を改良して頭を造らなければならない。今後の新らしい時代に於ては適材を適處に持つて行つて働かなければならない。國際競爭が激しくなければなる程我國と外國との將來を考へて國力を增進させる工風が大切である。國力を增進せしむるには國民の力を發展するだけ發展せしむる事が大切である。うこで男女の關係は前述の樣であるからその性に從つて充分に働かなければならない。我國に於ては女子の天性を充分に發揮せしむる事が出來

るやうにしなければならない。即ち女子はその自然の性質によりその他の事情より考へても一家を整理するといふ事が社會國家の基礎を固めるに大切である。然しられだけ女子の腦力を遺憾なく發揮しなければならない。婦人の仕事は家庭内だけに限る事なく社會的に又職業的に活動すべきである。要するに與へられた性を遺憾なく發揮する事が大切である。家庭以外の仕事にたづさはるには適材適處主義をとらなければならない。そしてなるべく女子に適した事をしなければならない。又家庭的精神をもつて二重負擔を果すべく家庭改善をしてゆかなければならない。私は之に對して三つの意見を持つてゐる

一、共働共樂主義を撤底せしむること

二、家族の健康を增進せしむること

三、家庭生活を容易な事から改善すること

要するに今後の日本婦人は体力を進め智力を進めて二重の仕事に堪へてゆく樣になるといふ事を心掛けなければなりません。

■報告

給品部設立の趣旨

學校を出られた皆樣方はこれ迄あまりに母校との行き〻が無かつた樣に思はれます。

皆樣方の交渉とか希望とかの時代の要求を耳に致しませぬ。おりにして學校を出ますと御両親初め御自分方でももう學校へは用のないもの、學校へ出て行くものはそれは何かと關係のあるものとか、よつぽど蝶々しいものとのみ冷視されてゐた樣で御座います。

されば卒業生にした處で、一年より一年と遲く學校を出る人程現代的に教育されてゐる譯で先輩であり先覺者であらねばならぬ筈の古い卒業生はかへつて家事に雜務にのみかまけて、だん〳〵と退歩してゐるかたむきが御座います。これではいけない、どうかしなければといふことを思ひ出したのは決して近頃のことでは御座いません、けれどついに其よい機會がなくして幾月幾年かは過ぎてしまひました。

其内大阪でも東京でも、近くは岡山地方にも同窓會の活動で、同窓生の教育向上法が試みらる〻樣にな

りました。其結果は良好でした範として十分なる實例を上げてくれました、私達の若ひ血しほが、おどり初めた頃、學校には先生方の大移動があり、新任の校長樣を迎へる事になりました

校長は此點に於ては、私達より以上進んだ御かむかへと御同情をもつて少さい芽ばへをばそだてゝ下さいました

時は、あたかも創立十年の記念祝賀會をひかへて幾日もない時でした

思ひ出多き記念日の、記念事業としてふさはしい記念館設立の意志は、たちまち皆樣の御贊成を得こゝに於て私達は其基礎となるべき基金を募る事に致しました

その第一方法としてバザーを開く事に致しました、バザーを開くに附き市中の有志者から厚き同情の御言葉と多額の寄附金を頂きました。又支部からも、市内の人々からも、それぞれ寄贈品やら寄附金やらが集まり、また同窓生製作者側では三月四月を學校の一隅で夜を日に次いで一心におつくし下さいました事を感謝致します、かくて第一回バザーは皆樣方の同情と勞力によつて成功致しました。

しかし利益があるからつて一年の内さう度度時間と費用と場所と勞力とを費やす處のバザーを開くわけには行きませぬ。

そこに於て互に利益にもなり、またいくらか此事業のたしにでもと思ひしつたのが給品部なのです。

今迄商人の方では一つの品を賣るにさいしても雇人の費用とか貸だほれの補充とかまたは金利とかいふものを勘定に入れ、加ふるに、生産者から生徒の手に入る迄には幾人かの仲介者の口賃運賃といふものがかゝつてゐます。だから一つのものにすれば極僅少では御座いますけれど、日數につみ人數にとひ個數にすると一年の内には余程の量になります。

かうした空費を省いて生産者から比較的直接に需用者の手に入れるといふ事が給品部設置の趣意であります。

給品部の品物は安い、安いから品物が落ちるといふ愚かな言葉を耳に致しますが、この自明な事理が解らない生徒さん方が存外多いのは誠に遺憾に存じます。目下關西の女學校で學校内に給品部をおいてゐる處は著名なので奈良高師、大坂樟蔭女學校、夕陽ケ岡女學校、相愛女學校、梅花女學校、岡山の女學

校など方々にあるそうです、さうして販賣品はノート、筆墨、インキ、糸、紙、レターペイパー、エンベロープ封筒卷紙半紙など文具と中食用のパンとかまたはクシ、ピンなどで時價ヨリ一割乃至二割は低廉です

これらの給品部の賣上高は只今の處均らして一日五六十圓より下らないそうです

まして學級初めとかは何百圓何千圓といふ目立つて繁昌するそうです　同窓會本部幹事

見學團及研究會成立に就て

私共が卒業致しましてから幾年か過ぎました、その間、世の中は絶えず進歩してゆきました。殊に近頃の世の變動は甚だしいものでございます。それに私共はどうでございませうか、新らしく御卒業なすつた方は兎に角として二年も三年も乃至はそれ以上も過ぎた人達は退歩して行くばかりのやうな氣が致します。私達の思想を最も新しいものにする事は出來ますまいが、少くとも時代の風潮に伴ふておくれ丈けのものにして置かなければならない必要はあると思ひます。

今までの女は社會といふものから餘りに遠去かつてゐたやうな氣が致します。私共はこの点を考へまして時事問題社會問題に對する智識をもつと〳〵收得して社會に近つかなければならないと思つたのでございます。

今の私共は女子の天職たる家政上の仕事と同樣に社會問題や音樂美術文學等に對して相當なる理解力を有し圓滿なる常識を備へてゆかなければならないと存じます。

かうした考へから私共の見學團及び研究會は成立されるやうになつたのでございます、(勿論女として手藝やお料理等の必要は申すまでもありませんから研究の項目に加へてございます、この事は紀念館建設の上でする仕事でございましたが世の進歩につれて私共もぢつとしてゐられませんで小さいながらも組織する事になりました)

之等の問題を絶えず研究してゐらつしやいます母校の校長先生始め諸先生方にも非常に御賛成下さいまして御力をおそへ下さいました。尚五月九日の同窓會の時皆樣に申上げまして又多くの讃成を得ました

そうして先生方の御都合も伺ひまして大体次のやうに定められました。

一、一ヶ月一回諸所を見學する事

二、一ヶ月一回お料理の講習をして頂く事

三、毎週月、土の二日希望の科目を研究する事

（只今の處では音樂と刺繍をして居ります）

四、時々母校諸先生より時事問題社會問題文學繪畫音樂等に關する御講話を伺ふ事

になりました。皆様何卒私共の主旨をおくみとり下さいまして奮つて御出席下さることを希望して居ります。

時日や場所はりの時々に御知らせ致します

本部幹事

學校訪問し給品部視察

かふいふ名義の元に、生酒さんと私は、學校よりの指命を帶びて行かないかとの交渉が起りました。けれ共家庭の事情にしばられ勝な私のからだは、さう自由な行動を許してくれませぬ。されば再び御辞退したのですが、其時の成行として余義なくいろ〳〵の思ひを酬して、蒼皇として上阪の途につきましたのは五月廿三日午後十一時一分で御ざいました。一日前に福山迄いらつして私を待合せて下さつてゐた生酒さんを迎へて同じ思いを車中に語り明しました。

歌人の心に生くる洋の朝

今はわか身によみがへるかも　明石

古の人の心もしのばれて

なみだぐみつゝあほぐ須磨寺　須磨

しようもないこんなものを作つてゐる内に大阪に着きました

第一番を何處にしよう。三日の豫定の内中一日日曜日があるために苦しい時間割を立てねばなりませんでした。兎に角イの一番を樟蔭女學校にと足をひけました。

奈良行き電車で小坂停留所を下りるとすぐ一町と行かない間にあの名高い樟蔭女學校は見え初めました小橋を渡つて本門に入るとすぐ門衛が出て來ました來意をつけ、校長様よりの紹介狀を出しますと、まづと玄關へと案内されました、途すがら左右を眺めますと、寢ても見まほしき緑のしとねの芝生の中に

は何何科の何々植物といともゆかしい立札の間に間に種々の異る植物がさも吾々を出迎へ顔にほゝえんでゐるかの樣に心地よい感じを與へました。

玄關に立つた私達の目をかすめたのはすらつりつと並べられた訪問者の下駄でした。

かつて見た上流の本玄關の樣な優美さと廣やかさとを感じた時、今迄殺風景な學校のみ見て來た私の目にどうして之が學校の玄關であらふと思はれませう

私は今幾時間の後私の眼界に開かれ樣としてゐる此學校の內部を想像する事か出來ない程驚いておりました。

しばらく玄關に待つてゐる間に電話が各室に通じてゐるらしい事が分りました。また時業のベルが電氣作用である事も分りました。

美しい聲の事務員に導かれて應接室の客となりました。應接室には多くの人々が待合せてゐらつしやいました。

母校の應接室と此處の應接室、其淸酒にして華美にあるざる此應接室の心よさ。

綠のカアテンを開いて今通つて來た前庭を眺めんとした時、其刹那ベルがまた鳴り渡りました。ほとんど同時に左からも右からもグリンのスカートとかろらかにおきげ姿の愛らしい生徒が嬉々として活潑げに話し乍らせはしく往來しはじめました。其資性の立派な事都ならではと思はれました。初めて見るグリン色の袴の優美さ、其處なればかいとく私の目を引きました。

かくてある內に當校の潮田理事が折柄御不在の校長樣に變つて學校を紹介して下さいました。見るもの聞くもの皆驚嘆する事ばかりでした。コレダから田舍者は困るとおつしやいますなよ。かほど迄に此學校は進んで居るのですから設備の完全さ個性的敎育方針がしのばれてかくの如くして敎育さるゝ生徒が羨まれました。私は一人一人私達に對して少しのへだての色もなくにこやかに丁寧にお辞儀をして行く生徒を眺め、

幸福なる御身達よ幸に自重したまへ。

といふたくなりました。

先第一番に作法室から見せて頂きましたが、いち〳〵書取り難くて其順序は忘れました。只深き印象として稱された三つ四つのあらましさお話し致します故何卒此責から御のがし下さいます樣。

作法室

「えゝ立派でしたとも階下は御茶席など御座いましてね、多分隨意科の方の專用でせう、御二階は一般生徒さんの方の御使用とのことです、隨分廣う御座いましたがうつかりしてゐまして何疊敷けるか分りませんでした。床の間には文秀女王殿下の百鳥の繪がかゝつておりましたつけ。額もなか〳〵立派なものでした。富士山の繪でしたか時價一万圓とか、一つの品にもこんな高價なものがあるのですもの大した事ですわ。二階から見下した御庭も美しいけれど下の茶室のさゝやかな庭がどんなに氣に入りましたろう。

醫療室

普通病院の二等室つて格でしたね、

來賓應接室

洋室中一番美しいお部屋でしたわ。ストーブの火は燃えてはいなかつたけれど、大理石に映ゆる赤い焰によつて暖られる客人のきらびやかさも思はれて。椅子も机も花臺も鏡も只麗しゆて折柄の微風にゆらめくカアテンの一つにも愛着がありましたわ。

講堂

さうね、よく見る議事堂の繪ね丁度あゝいふ思ひつきがありますね。

洗濯教室

しきりと先生が御講義を遊ばしてゐる最中でした。ボールドに書かれた文字はよく分りませんでしたが表であらはされてゐる書式がうれしいと思ひました生徒の向つて左側には大きな流しかありましてね一つ〳〵大きなたらひがありました。

さうして先生の御机の上には多くの試驗管や藥品が置いてありました。勿論徹底的です、

材料も時間も費用もをしまずやるのですもの。

洗濯教室を見過して校庭をそゞろ歩めば右手に池がありまして黄色な山吹か今を盛りと裝ひこらして水鏡してをりました。

舟あらばさをさしましや初夏の
　　はなちる岸を思ひのまゝに

木レンガの渡廊を渡つて片隅のピンポン臺を横目でにらみつゝ小さい室の幾つもならぶ前に立ちました。そこは樂器使用室でした。一二三と九室程ありました。それが皆ピアノでした。私達のオールガンの樣に此處にはピアノが澤山あるのね、と申しましたら

笑はれましたわ。

割烹室

まあ！おどろいた。皆電氣仕掛けなのよ、マヽ、焚くかまども電氣ならお湯も野菜もお魚あぶりも皆電氣マッチ一つで湯が沸くと瓦斯が出來た時、たまげた田吾作、こんどは何んにもなして湯が沸き、マヽが出來るので、口。アングリ●●●●●●●

試食室

振つた御部屋でしたわ。小さく高かく作られた上等の交番所見たいな可愛い室内に机と椅子が主待ち顔に並んでゐました。

會議室もよかつたわ。

理科準備室のほんとうによくとゝのつてゐる事。あゝあの十分の一でも私の學校においたならと思ひました。潮田先生から澤山の眞球から養殖眞珠と眞物との區別など伺つてうれしう御ざいました。動物園でも見る心地でカラス石の中のいろ〳〵の標本を見て驚きました。今に目について忘れられないのは極樂鳥と胎兒十ケ月の模型とです。

理科室には澤山の顯微鏡がありましたよ、一人に一つづゝらしかつたですね。

三階の廊下をあゆみつゝ見たり思たりしたことをお話し致しませうね。

バルコニーに立つて眺める廣い校庭と、普請場と周圍の平野はうどせ古里あたりには見られないゆつたりとした氣分を誘ひました。

「テニスコートですつて、ありますとも！。うれが皆砂地ではなくつて風が吹いても砂が立たない木レンガですから衛生上大變にいゝのですつてね。せめて母校の割烹室に行く道講堂に行く道だけでも之にしたいものね。

何にも炭はつかひませんといはれるけれど裁縫の鏝だけは炭だろうと思つて居るとね。それすら電氣もう電氣ならでは世の明けぬ學校と聞いてお祖母さんなんかきつとキリンタンだろうと思ふでせうよ。

階下を下り樣とした處にパン屋の出張所がありました。もう品切れでしまつてゐた處でした。そこを下りると階段下に美しい長箱を置いてありました。私は圖畫用の御道具でも入れてあるのかと思ひましたら何、が何が、それは御掃除道具入でした。

主な給品部がとう〳〵こんなに後になりましたが、階下に小さいバックスの樣な給品部とは異ひ堂々た

るものでした。
主任といふませうか、擔任といふませうか、りの責にあたつてゐる方が二人程ありましたが丁度私達が這つた時は休息時間と見え、大變繁昌してをりました。
先づノート一式、筆墨、インキ、類に至る文房具は元より針、糸、書物、反物、靴、袴、おじゆばん、(ユニオン)とかいふ規定の品など一切陳列してありました。
一年間の賣上高が二万幾千圓純益金が三千圓程といふのですもの何しろ大したものです。市中より一割二割安くして、尙これだけの純益があるのですからおまけに雇の月給とか費用とかを引さいてといふのですから大したものだと係の方の御話しでした。
當校では此お金でもつて校友會の立派な雜誌やら寫眞帳やらを作つて生徒に分つさうです、それで私達が紀念館を立てるためにかふいふ事業を起したといふ事は誠によい思ひつきだとほめて下さいました。
恁うして色々と便宜を謀つて下さいました事を私は深く感謝致します。
此學校について御話し致さねばならない事はそれあ!澤山あります。
圖書室なんかももつと母校では改良しなくてはなりませんね。髪も私達の時代よりは大變簡易にはなりましたが、此處の樣に優美でももつと簡畧にしたいものですね。
袴も漸次一定したい。內部の設備をもつと充實したい。私の學校の改良法をあれもこれもと思ひつゝ美しい學校を辞したのは午後の日も漸く傾いて近くの木蔭に小鳥がチ、と戯れておる時で御座いました。
次は相愛女學校と、次々とかけまはつて見ましたけれど、樟蔭女學校におよぶべきもありませんでしたから畧します。
私達はこれらを終つてすぐ指定の卸問屋へ向ひ、仕入品の注文に走りまはり疲れた足を京都へむけたのは翌翌日の雨のそぼふ午後でした。雨のために思ひ半ばもはたさゞして、歸途につきたは廿七日の午前三時幾分、さすが一人旅の歸りは行きしにまさつて淋しいものでした。

東京支部より

東京の同窓生の方もかなり多くなりました。尾道にゐました様なわけにゆかず、お互に遠く離れてゐてあまりお會ひする時もありませんので、年に二度位は東京支部同窓會を開きたいと思つてゐます。

第一會として昨年十二月十三日に神田の女子青年會館で開ました。阪本先生一色先生を始め集つた同窓生十三人、久方ぶりに尾道辯まるだしで、隨分面白うございました。

また近々開く考へで居ります。在京の皆様何卒奮つて御出席下さいまし。先生方にももし御上京遊ばしましたならそつとお歸へり遊ばさずに一寸御通知下さいまし。小さい集りでも致しまして、樂しい過ぎし日を忍びたう存じますから。

在京の同窓生の皆様に

二月に母校で同窓會基本金募集の爲、バザーを催しました時、東京支部でも何か作りたいと存じましたが、時日も少く又御相談もよく出來ませんでしたので取あへず在京同窓生より金七拾圓送附しました。御返事差上げない方もあると存じますから、誌上にて御承知下さいまし　東京支部幹事

■雜錄

バザー記事

毎年の三月には新しい卒業生が幾十人となく校門から送り出されて行きます。之等の人達は果してもう卒業したのだといつて昔の娘さんのやうに家の中にばかり閉ざ籠つてお裁縫や家事の御手傳位に甘じてゐることが出來るでございませうか。時代の思潮は強い魅力をもつて絶えずこの小さい私達を大きな新しい世界に導いて參ります。永らく眠つていた私達の心は漸く目醒てまゐりました。科學的に進んだ私達の頭は最早一日も私達の因襲的偶像崇拜者たる事を許しません。而も世の文化は日と共に新しく凡ての社會は急劇な加速度を以て改造されてまゐりますかうした世の中をみてどうして若い私達がぢつとしてゐられませう。向上を願ひ自己改造を願ふ心の欲求は雲の如く湧いてまいります。より以上自分自身を修養してゆきたいそして自分達の内容充實の爲に

色々の事を研究したいと心から叫ぶ樣になりました
そしてこの欲求は今や現代女子一般の叫びとなり己
に東京を始め各地の女學校に於ては同窓生の力によ
つて具体的に之等の要求を充してゆくやうになりま
した。私共は彼女等の活動振りを見聞する毎に密に
若い胸をおどらせてゐました。ろうして母校のため
に又私共卒業生の爲に何かしたい〳〵と思つて居り
ましたのも決して短い間ではございませんでした。
そして來るべき機會を待つてゐたのでございます。
遂に其の機會は參りました。それは本年二月母校の
創立十週年の祝賀會が開かれる事になたのでござい
ます。そして此の機會に同窓會でも何かしたいとい
ふ集議の結果愈々記念として卒業生專有の研究場所
即ち紀念館を建ててお互の修養場研究場とし事實の
上に私達の向上を計らうといふ事になりました。私
達はかうした動議の起つた事を心から感謝せずには
ゐられません、幸に昨年新しく御迎ひしました校長
先生はこの点につきましては大變新しい思想を御持
ちになつて居りました。ろうして私共の此の計畫に
對して多大の御指導と御盡力とを賜りました。ろれ
で私達は先づその基本金募集の爲に母校の紀念日に
當つてバザーを開く事になつたのでございすま。

十二月六日
來る二月のバザーの準備の爲高木先生井上先生御指
導の下に半衿の刺繍をすることになりました。學校
の一隅に陳取つて朝から晩まで皆樣が御熱心になす
つて下さいました。
十二月廿三日
本會の爲に御寒いのにも拘らず皆樣が一生懸命に多
數御出席下きいました。年末で急がしうございます
ので又明年始める事にして今年のは今日で打ち切に
致しました。
一月からは半衿袋物よだれかけネクタイ等の製作を
致しました。又同月より生酒樣御母堂御指導の下に
同家でつまみ造花の製作を致しました。
學校でも生酒樣の御宅でも皆樣はそれは〳〵一生懸
命になすつて下さいました。そして大体出來上りま
したのは二月十七日頃でした。
東京支部を始め各地より寄附金もございました。又
物品を寄附して下さる方多數ございました。大体こ
れで賣品の準備は出來たのでございます。

⊙前日の準備

⊙會　場

會場は北側二階の教室でございました、三方は黒幕を張られ天井には紫綠赤等種々なる色彩のモールが縱横網の如く引かれその中央は藥玉隅々は柳餅縱横に萬國旗等で美事に裝飾せられ花傘に玩具をつりさげられたのも面白い趣向でございました。

賣品は各々白布を被つた机の上に美しう陳列されました、室の中央のテーブルには造花部の手になつた大きな花環が置かれ其の周圍には椿、菊、バラ、スミレ、朝顔、藤、櫻、梅、山吹等の造花が色どり美しく陳列され又玩具お菓子等の御子さん達のお相手もならべられました、陳列には半衿が光彩を放ち窓側には袋物廊下側には化粧品其他雜貨類西側にはつまみ類廢物利用品種々なる參考品が處せまきまで陳列されました。

入口出口ともにバベの葉を以て綠門が作られ入口には市川先生の御手になつた『賣店』の額がかかげられました、出口の所はすぐ食品即賣店になつて居りましてお菓子の鑵も幾個となくつまれお密柑が秤の上へ上げられたり下されたりするのも急がしろうに見えました。

⊙食　堂

理科準備室の一部かお台所にそのお隣の教室が食堂になりました、二方は藍色と白の幔幕東側の壁にはバックが張られお台所の出入口には何處かの食堂を思はせる樣な美しいカーテンがしぼられてありました、室内には萬國旗が種々なる方向に張られ中央には美しい花傘もつられました、又先生から拜借した油繪もかゝげられて大變光彩をそへました。

各のテーブルの上にはさゝやかな花が置かれ室の中央には蓄音機も備へつけられ入口には食券販賣所も設けられました、出入口には會場と同樣に綠門が作られ『食堂』の額もかゝげられました、又墨色もうるはしく書かれた定價表も張りつけられました。

お台所と定められた理科準備室には大きな火鉢も置かれ洗ひ上げられたお茶碗の籠もいくつかならべられました、そうしてそれ等の何もが明日の急がしさを語つてゐるやうでございました。

◉二月二十一日（バザー第一日）

早春の日は氣持よく照り渡つて咲きそめた梅の花にも燃えるやうな紅椿にもかはいらしい笑が見えてすべてのものが母校の十週年を祝するかのやうに見えました。

きれいに整理された校庭には無數の彩旗がひらめいて居りました。

やがて煙火の響は爽やかな朝の大氣の中に消えてゆきました。愈々紀念式が擧げられるのでございます講堂には美しい花が飾られ右が來賓席左が先生方私共同窓生の席として中央には全校四百の生徒が控へて居りました。

知事樣始め市長視學樣等多數御臨席下さいました、君が代勅語奉讀の後各來賓父兄総代同窓會総代（生酒コト樣）校友會總代の祝辞があり引續いて校長先生の答辞があつていとも莊嚴に嬉びに充ちた式は終り續いて岡田先生の表彰式が行はれました、同窓會（壽美谷多賀子樣）校友會総代の謝辞次いで目錄贈呈がありました、やがて先生の答辞によつて全く式は終りました、各來賓の御退出の後私達はこれからが本舞臺と講堂からかへるや否や各々持場をかためました。

賣店は半衿部袋物部つまみ造花部化粧品雜貨部廢物利用部補助品即賣部食品卽賣部に分ちました。

◉半　衿　部

紫や綠や美しい色どりで一番光彩を放つて居りました、なか〳〵の景氣で始まる前から賣約濟の札の張られてあるのが大分見受けられました、係の方々の努力によりぞろぞろんの賣れ行きでございました。

◉袋　物　部

一寸お手輕なのと又價格もお恰好でございますのでどし〳〵はけて行つたやうでございます、渡瀨の御隱居樣の御手になつた小さい袋も大變よく賣れました、係の方が大變御上手に御商賣なすつたやうに見受けられました。

◉つまみ造花部

此のお座の景氣のいゝことは大變なものでございました、造花などはまたゝく間に賣りきれてしまひました、お作りになつた方達は滿足そうな笑を浮べながらいそ〳〵と販賣につとめていらつしやいました

◉化粧品雜貨部

ベルッ水、香水、白粉、齒磨粉、洗粉等飛ぶやうに

はけてゆきました、あまり白粉などがお安いので『顔に穴があきはしませんか』と御心配遊した方がございましたとか『同窓會ではそんな品の惡いものは賣りません、どうか御試めし下さいませ』といつて大笑ひしたりうでございました、帶〆や鹿の子ネクタイ靴下等もよく賣れました。

◉補助品即賣部

市中から取りよせました風船やお菓子玩具袋物等の賣店でございました、お子さん達のいいお相手ばかりで賣子諸孃しきりにお世辞をふりまきながらホク〳〵よろこんでいらしやいました。

◉廢物利用品部

渡瀨の御隱居樣御寄附の鼻緒其の他の賣店でした、お安いのと實用的のものですぐ賣れてしまひました

◉食品即賣部

此の賣店はいつも〳〵いつぱいの大繁昌を呈して居りました、品物は

餅菓子一包	二十錢
パン一個	五錢
お密柑一包	二十錢と二十五錢
お煎餅一袋	十錢と二十錢
キャラメル羊羹	一個各六錢

といふ定めでございました、幾度となくテーブルの上へ山とつまれる品物もすぐ賣れてしまひます、係の方々は目のまはるやうな急がしさをみせていらつしやいました。

◎食堂

式がすんでやつとお勝手の仕度が出來たか出來ないかの時分からどし〳〵たてこんでまいりました

おしるこ	十錢
コーヒー	八錢
コーヒー パン	十五錢
おすし	三十五錢

と定價表へ書きつけられてあります、うれ〳〵の食券を賣つて引換に差上ける樣になつて居りました、食券販賣所はお金の出し入れで目がまはるやうでございます、お臺所も同樣でお茶碗の音おさじの音出たりはいつたりする騷々しさ丸で火事場のやうでございます、時にはおしるこをひつくりかへすやうな失敗も致します、午后音樂會が始まりましてから一

寸すきましたが又終りましてからの急がしさは格別でございました、明日までに賣り切れやうかどうかしらと心配して居りましたがうれ所ではございませんん一斗のお餅を大方用つてしまいましたやうな賣れゆきでした、何と申しましてもおしるこが一等を占めて居りました。

心配して居りました第一日も案外の賣れ行きでございました、會場食堂もフロックコートや御紋附の方美しく粧つた方達によつて充たされて居りました、夕暮近く第一日を終つて賣り上げの計算をして始めて味うた今日一日の面白かつた事樂しかつた事又失敗等語りながら今日の努力の結晶を手にして校門を出ましたのは寒い夜風の身にしむ頃でございました

○二月二十二日（第二日）

○半　衿　部

今日も昨日と變らず相當の賣行きはございました、價格もかなりのものでございますので係の方がずゐぶん努力して下さいましたが少しは殘りました、どの品物に抱らず多少殘ることは私共の豫期してゐた事でございます。

○袋　物　部

この日もよく賣れました、午后からは壹圓參拾錢に賣つて居りましたのを壹圓に下げてしまひました、それからも皆樣の運動によつて大分はけて行つたやうでございました。

○つまみ造花部

ここは大景氣で造花は昨日全部賣り盡してしまひましたつまみも晩方までにはすつかりなくなつてしまひました、造花はもつと〳〵あつてもよろしうございました、そして係の方を始めみんな殘念がつたのでございます。

○化粧品雜貨部

相變らずの大繁昌でございます、誰でもの必要品ですから思ひの外よく賣れました。

○補助品即賣部

なか〳〵品物が足りませんので市中から次から次へ取りよせて賣りました、風船があちらこちらに飛んでゐるのも澤山見受けました。

○廢物利用品部

鼻緒は大好評を博して昨日賣りつくしてしまひましたので校友會の方から紀念品を讓受けたり繪端書を

賣つたり致しました。

◉食品即賣部

相變らずの大景氣でございました、お菓子もお密柑も飛ぶやうに賣れまして係の方達は大活動をしてゐらつしやました。

◉食　　堂

朝から大繁昌でおしるこもどう〳〵足りなくなつて小豆を煮ますやら大變なさわぎを致しました、お臺所の急がしさは格別で大きなお鍋を二つもかけて作りましてもなか〳〵間に合ひかねるやうでございました。

おすしなどいくらあつても〳〵足りません『お氣の毒樣でございます、もう賣り切れてしまひました』と幾度申しました事でせう

かういふ景氣で全部賣り切れましたのが五時過ぎでございました。

この日に朝から氣にして居りましたお天氣がとう〳〵お晝前から雨になつてしまひましたが昨日と同じ樣に學藝會に琴會にバザーにと集つて來た人達で校内は一ぱいでした食堂の方は案外早く賣り切れてしまひましたし賣店の方も皆樣が一つでも殘すまい〳〵と一生懸命に努力して下さいましたおかげで品物の殘りも少うございましたのは何よりうれしうございました。

私共はバザー〳〵とどんなに期待してゐたことでせう、或一種のいひしれぬ不安におそはれながらもうれしさに若い胸をおどらせて居りました、一日過ぎますとその不安も何處へ去りましたやら只々うれしさに一生懸命になつて二日ともお互ひにベストをつくしました、始めての事で何もわからずに致しましたが豫期したより先づ大成功と思つて居ります。

これも皆樣の尊い努力の賜物と心から感謝して居ります、來年はもつと〳〵盛大に致したいと存じて居ります、そして一日も早く紀念館を建てるやうにしたいと思ひます、どうか皆樣母校のため私達卒業生のためにこの仕事に對して忠實なる努力をお注ぎ下さることを希望して止みません。

両日に於ける賣上高は左の通りでございます

第一日

賣　店

一、食品即賣部　　一〇四、円二五

二、袋物部	六九、円七五
三、半衿部	六二、五五
四、つまみ造花部	四五、二五
五、化粧品雜貨部	三九、一二
六、廢物利用品部	一〇、九〇
七、補助品即賣部	一〇、四六
食堂	九六、一六
計	四三八、四四
第二日	
賣店	
一、食品即賣部	一三七、円〇四
二、袋物部	七七、九〇
三、半衿部	五四、三五
四、つまみ造花部	二七、〇〇
五、化粧品雜貨部	四一、八八
六、廢物利用品部	二〇、三三
七、補助品即賣部	四三、四五
食堂	九六、九八
計	四九八、九三
殘品賣上高	五六、六五
總計	九九四、〇二

整理の結果左の通りになりました

賣上利益金	一七五、円三五
物品寄附賣上高	八〇、六五
寄附金	一七四、〇〇
計	四三〇、〇〇

（基本金として貯蓄す）

終りに臨みましてバザーのためにお盡力下さいました母校諸先生生酒樣御母堂渡瀨御隱居樣正木樣御母堂會員皆樣に厚く御禮申上げます。

慰勞會記事

二月二十九日

ポカ〳〵暖い小春日和の午后から先日のバザーの慰勞會が開かれました、會場は下の裁縫室でした、校長先生始め諸先生バザーのために御盡力下さいました生酒樣正木樣のお母樣もいらして下さいました、會員は三十名余り集りました、壽美谷樣の開會の辭に次で校長先生の御話がございました。それから急ぐしらへの余興に移りました。

第一に活人畫、小督の局、次に諸先生に隱藝をしていたゞきました。吉野先生と高木先生との謠曲この

道にあまり耳のこえてゐない私共にも大變床しく聞かれました。又秋山先生の鳥の鳴き聲の御上手なことさすがは博物の先生よとうなづかれました。今井先生の詩吟(捨子)には思はず聞とれました。つゞいて合唱活人畫等は行はれました。又壽美谷樣の外國人の演說ぶりは非常の喝采でした。次にお腹の皮をよらせましたのは假裝行列でした。子守、髮結、キリスト敎の尼樣、御殿女中、さては花嫁、花婿、神主樣など其の巧さと滑稽さにしばしは笑ひも止まりませんでした。岡田先生と生酒樣のお母樣の三味線と他の方々のお琴との合奏は先生方のお若い時の御手並のほども見えてほんとうに床しく聞かせていたゞきました。それから秋山市川今井三先生の謠曲(竹生島)長唄對話等が面白く行はれました。かうして最後の閉會の辭の終る頃は校庭の木立ちを透して沈みゆく日が斜に淡い光をなげてゐました、半日の觀樂も全くつきて面白かつたことおかしかつたこと等を語しつゝ家路についたのでございます。

當日のプログラムは畧次の通りでございました

一、開會の辭
二、校長先生の御話
三、活人畫(小督)
四、諸先生の隱藝
五、合唱(埴生の宿)
六、活人畫(太田道灌)
七、外國人の演說
八、假裝行列
九、琴三味線合奏(松竹梅)
十、對語(五年後)
十一、長吹(鶴龜、筑摩川、松のみどり)
十二、對話(電話)
十三、閉會の辭

給品部記事

この間同窓會にいらつしやいました方は校長先生から御紹介がありましたので御存じでせうがまだちつとも御存じない方もある事と存じますから一寸御紹介申上げます。

母校には今年四月から同窓會校友會合併の下に給品部なるものが出來たのでございます、各地の學校に於きましても同窓會員の力によりましてかうしたものが澤山出來て居ります、そして得た利益を各方面

に有益に用ふるのでございます、本會でもかういふ主旨の下に給品部は置かれました、在學の方達の便利も多大なものだらうと思ひます。

主任を今井先生がして下さいますし又各級から二人づゝの委員を出して下さいました、日々の仕事はこの方々の手によつて營まれるのでございます。

市内の商店から品物を取りよせ休暇中に準備を整へまして賣り初めましたのが四月七日の入學式の日からでございました、場所は閲覧室を借りました、品物はと申しますとすべての文具類草履足袋等でした新入生を相手によく賣れました、次の始業式の日も同樣でした、翌日から定められた圖書室の前の楷段の下へ引越しました、隨分狹うございます、そうした中に棚もいくつかつられて澤山の品物は積み重ねられました。入口の『給品』部と書かれた札もいかめしく見えます。

それから生徒の要求に應じましていろ〳〵と品物も多く取りよせられ中食にはパンも取るやうになりました。

四月下旬品物買入れと各學校の給品部視察のため生酒樣と壽美谷樣とに大阪京都方面に行つていたぐきました、御話によりますと彼の地の學校の給品部は隨分大規模のものだそうでございます、母校のも早く小しでも大きなものにしたいとつとめて居ります品物も直接にとりますので余程お安く賣ることが出來ます毎日〳〵かうして先生や委員の方達のお世話で朝とお晝の時放課後三時まで開く事になつて居ります、收入は毎日五圓から十圓位はございますが純益は僅かなものでございます、初めの内は多少の批難はまぬかれませんでしたが今では無事に日に〳〵盛大になりつゝあります。

同窓會総會記事

葉櫻の緑も漸く濃くなつて袷の袂もすが〳〵しい五月九日の午前九時半から新卒業生歡迎會を兼ねて同窓會が開かれました、來會者六十余名

開會の辞に始まり次で校長先生の御講話がございました、そして給品部の紹介等もございました、續いて歡迎の辞入會の辞があつて後協議にうつりました

協議事項は

○一、毎月一回會合の事

○二、本會の事業として

○1、見學團を組織する事、
○2、研究(主として手藝音樂社會問題等)
○3、研究意見發表
○4、運動(散歩遠足等につき)

の事につきまして會員の意見を求め多數の贊成を得ました、之等の事は私共を向上させるについてこの上ない事でございます。

生酒コト樣壽美谷多賀子樣の京都大阪方面視察談もある筈でしたが都合によつて中止となりました、御話なさるべき事は別にお書き下さいましたからどうぞ御覽下さいませ。

久方振りで肩をならべて樂しい會食の後市川先生がわざ〳〵私共のために御自作の美しい油繪を陳列して下すつたのを見せていたゞきました、それから余興がございました、

活人畫羽衣、鏡山、つゞいて吉野先生市川先生の謠曲渡邊先生のヴァイオリン補習科の方々のお琴獨唱等面白く聞かせていただきました。

魚釣りとも歌劇とも活人畫ともつかない『さすらひ』にはみな〳〵お腹の痛くなるほど笑ひました新らしい方々ともお親しくなり一同心おきなく樂しく語り名殘を惜しみつゝ家路につきましたのは四時過ぎでございました。

郵便局を觀る

空はコバルト色の絹を流したやうに晴れた心地よい六月五日午后三時頃最初の見學を試むべく私達同窓生十余人は在校生の有志十數人と共に校長先生藤田先生佐藤先生に引卒せられて郵便局にまゐりました第一に導かれましたのが電話交換室でした、掛りの方は丁寧に電話接續の順序、方法、交換臺、構造、長距離電話に關する事などを說明して下さいましたかうして御話を伺つて居りますうちに交換手達は『何番々々』と絶え間なく働いて居りまして見てゐる丈けでも中々急がしろうでした、お盆とか年末又は火事などの時の急がしさは格別だとの御話でございました。

次の室は交換手の休憩室でよく行屆いた設備がしてございました、それから下へ參りますと其處では封書や葉書へスタンプを押してゐましたがその早さには驚かされました。近頃出來た電報の時間を正確に

する爲に配達する時間を入れて電報時間を印記するやうな新らしい機械も見ました。それは普通置時計と同じで或場所を押しますと時間が印記されるやうになつて居ります。電報配達夫もなか〳〵横着は出來ないわけでございます。次に電信室へ參りました幾臺かの電信臺を前にして大勢の人達は一生懸命に事務をとつて居りました。委しい説明を伺つて後電信機を解剖して見せて下さいました。電信機をコツ〳〵と押すばかりで何十里何百里との通信が出來るのでございます。今更のやうに電氣の力の偉大なのに驚きました。カチ〳〵カチと受信機の音を聞きながらそれを書き取つてゐる人もございましたが私共には何の事やらわけがわかりませんでした。しばらく見てからこゝを辞して局員の方々の好意を謝しつゝ歸途につきました。

學校を卒業してからしばらくかういふ事に觸れなかつた私共にはこの日は有益な又學生時代にかへつたやうな氣がして興味多い時を過す事が出來ました。恁うして親しく見聞致しますと之等の人達に對する同情も出て參ります。そして私達の智識も廣くする事が出來るのでございます。私達はかうして社會に近づいて行きたいと存じます。最初の試みは誠に有益に致す事が出來ました。そして又だん〳〵に各方面の見學を致したいと存じます。皆樣もどうか多勢お加はり遊す事を希望致します。

■消息

母校だより

昨夏以來の母校の樣子を大畧御知らせ致しませう。前校長杉野先生が去られまして以來學校は大變淋しう御座いました。然るに秋風の立ち初めます九月初旬、本縣師範學校に久しく勤續して居られた佐藤良都知先生が校長として赴任致され、學校の内部は遽に活氣づいて參りました。それから間もなく小野先生の後任に堀部(舊姓高木)先生が歸任いたされ、平賀先生の後任として石川先生が御出でになりました十一月に入りましてから森先生が山口縣室積師範學校(只今は千葉縣立木更津中學校)に榮轉せられ後任には今井先生が就任せられました。續いて長い間本校に居られて御勤續の多い三宅先生が御一身上の都

合で一時本縣視學委員に轉せられましたが、只今では双三郡立高等女學校にゐられます。其の後任には田邊先生が着任せられました。

本年になりまして二月二十一二日の両日に本校創立十週年記念式を擧行いたしました。前日の午前に記念式並に岡田先生十ヶ年勤續表彰式午後は大音樂會を擧行いたしました、翌日の午前に學藝會午後琴曲彈奏會両日に渡つて生徒の成績品展覽會同窓會のパザーを開きました。此等の諸行事はホントに盛大で萬事豫定通り滿足に遂行する事が出來まして同慶の至りであります。

三月の下旬になりまして八十四名新卒業生を社會に送り出し、石川先生が御一身上の都合で退職せられ秋山先生は學習院に、龜井先生は東京府立第五高等女學校に何れも榮轉致されました。

四月の新學期になりますと補習科が復活し新卒業生約二十五名が入學して專心に勉强して居ります、此度の補習科は中心學術を家事裁縫手藝として其他修身國語教育体操音樂等を課して居ります。皆樣御承知の通り校舍が狹隘のために補習科專用の教室がなく二階西北隅の圖書室を教室に當てゝ居ります。

本科の入學志願者も年々增加して參ります本年は三百二十名許り御座いました。其中百名を入學させましたから入學歩合は三割强であります。

尙ほ新學期から新しい試みとして同窓會校友會聯合で校内に給品部を設置いたしました。

其の目的は文房具類並に生徒の日用品を簡便に廉價に供給するためであります。

又新學期匆々は多少職員欠員も御座いましたが補習科の新設につれて職員一名增員となり佐藤歌子先生が新任せられました、其他深井先生、渡邊先生、淺田先生方が御出でになりまして五月には一人の缺員もなくなりました、然るに最近三橋先生が鹿兒島縣立第一中學校に榮轉になりまして後任として中江先生が就任せられ職員全部揃つた次第であります。

四百有餘の生徒も皆樣の時代と仝樣頗る眞面目に快活に日々智德体の修養にいそしんで居ります、御喜び下さい。

7

現在職員一覽

出身學校	受持學科	職名	就職年月日	本籍	氏名
東京高等師範學校	修身教育	校長	大正八●九●四	廣島	佐藤良都知
仝	教育地理歷史	教諭	大正八●一一●二二	仝	田邊領一
仝	數學理科	仝	大正九●五●二二	新潟	淺田正樹
仝	國語	仝	大正九●七●一	岡山	中江時助
東京美術學校	圖畫習字	仝	大正八●二●一八	靜岡	市川邦彥
東京高等師範學校	理科地理	仝	大正九●五●二五	香川	深井米次郎
日本体育會体操學校	体操	仝	明治四五●三●三一	埼玉	吉野賢司
早田大學	國語	仝	大正八●一一●五	岡山	今井篤三郎
奈良女子高等師範學校	家事、裁縫、体操	教諭兼舍監	大正八●四●八	香川	廣田カツ
津田英學塾	英語	教諭	大正八●六●七	東京	藤田まさ
東京音樂學校	音樂	仝	大正九●五●七	東京	渡邊亮
第六臨時教員養成所	裁縫手藝	仝	大正九●八●一〇	廣島	堀部政代

京都府立第一高等女學校專攻科	家事裁縫	教諭	大正八●四●八	廣島	岡田ヨシヱ
東京和洋裁縫女學校	裁縫手藝	仝	大正九●四●五	岡山	佐藤歌子
廣島尋常師範學校	作法家事	助教諭兼舍監	明治四二●三●三一	廣島	岡田タヅ
共立女子職業學校	裁縫手藝	教師	大正八●九●一	仝	井上リョウ
	庶務會計	書記	大正二●二●二八	仝	三次隆二
商業教員養成所	商業	囑托教師	明治四四●四●六	山口	河地大輔
	生花	仝	大正六●一●一	廣島	大塚靜馬
	点茶	仝	大正八●一●一五	仝	岡田オサメ
京都帝國大學福岡醫科大學		校醫	大正九●一●三〇	島根	清水元濟

舊師消息

一年振　愛媛縣師範學校杉野三治郎

住み馴れし尾道を去りて滿一年。親しき友に分れて滿一年。昨年の今頃は新參者で皆目樣子が分らなかつたが一年過ぎし今日は再び仕事を繰り返すので萬事勝手が能く分る樣になつた。師範教育の大体も會得することが出來ました。日增しに知り合ひも多くなつて聊も淋しさを感ずることがない。御蔭で身体も壯健で目的の修養に勵んで居ります。それに尾道の事は折々便を受けるのと知り合ひの方に御目懸るのとで大略は承知して居ます又學校の樣子も聞て居ます學校は益々隆盛の樣で此上なき結構の事と思ひます。

尾道時代は世事に追はれて碌々讀書も出來なかつたが當地へ參りまして以來は比較的時間に余裕があるので數寄な本を思ふ存分讀むことの出來るのは幸ひです。同僚の職員は本校が三十人附屬が十人合せて四十人の多數です此等の先生達は皆新進の若武者計りで各獨特の道を孜々と研究して居ります。

松山は人口が尾道の約二倍で面積は三四倍もあります。商業は尾道に比して御話しにならぬ程緩漫なものです。市の中央に城廓が有つて外濠の周回を電車が走つて道後へ通じて居りますから至極便利です。夜間は年中賑かで然も明るいものです。此の点は尾道とは大分趣が異つて居ます。然るに附近に道後の温泉があるから外來の浴客が多數入込みて自然賑さを增します。温泉は別府の如く豊富には有りませぬがアルカリ泉で胃腸病者には確に效果が有ると思ひます。私は毎週二三回は入湯に參りますが當地に來てから腸胃の患は更に有りませぬ寧ろ健全になつたと思ひます。それに相當に設備が行屆て居りますから心持ちがよいです。皆さん一度遊ひに御出下さい御宿は致します。

學校は各種中等學校が有りまして昨年より高等學校の新設もあり、教育は比較的進んで居ります。從て色々の教育研究會が行はれて吾々には頗る好都合です。音樂會も年に二回位は縣公會堂で行はれ微妙の音樂に耳を洗ふて居ます。運動は男性的のもの多く各校互に競技に熱中して居ます。本年より高等學校が中心となり縣下中等學校選手競技會などは隨分目醒しいものです。

在校生諸子幷に卒業生諸君久しく御目に懸りませぬが本誌を籍りて御挨拶を致します。御互に元氣を出して夫れ〳〵業務を勉勵して下さい。先般十週年記念に列席し得なかつたことは深く遺憾として居ます其内何かの用務を學びて尾道へ行く機會も自然に出來るであらふ。其際は豫め通知しますから、一堂に會して健全なる諸子に御目に懸り過きし昔を語る事を唯一の樂しみとして居ります。

三宅先生より

お別れをしてから早くも半年以上過ぎました。三月の末つ方思ひもかけず當地へ參る事になり、四月一日から開校の準備に取りかゝつて、夜となく晝となくそれは〳〵忙しい思を致しました。此頃は稍整つ

て來て樂になりましたが、未だまだ創業の際故心配は山程あります。前世の罪障が深かつたのであらうと思つて、愉快に苦勞してゐます。

夏休みには御地へ參りましすから一部の方にはお目にかかつてお話もし色の黑い顏を見て戴きもしようと思つてゐます。

おめにかかれない方々に眞玉を通して平素の御無沙汰を深く〳〵御託びを申し上げます。

森先生より

飛鳥地方の一日　（その一節）

とかくして橘寺に著いた。寺は東面して方十間ばかり階段の柱に『聖德太子弘法初の靈地』と云ふ着板を掛けてある。金堂の內陣には神鏡を安置してあつて、一寸外の寺と異つて居るこの橘寺の西一帶の地は、所謂厩戸皇子の宮址で方一丁余、今は一面田になつて居るがまだ石壘か所々に殘つて居て、聖德太子出生の地といふ立札がある。りの北二丁ばかりの田甫にあるのは例の川原寺で飛鳥七大寺の一であつたからその當時は朝夕梵唄の聲絕えず、實に隆盛を極めたものであつたろうが星移時變今は頽然たる一小廢寺となつた。聞說らく先年此寺の前方數千間の田地を堀りしに、その廻廊の礎石並別して古への規模の高大を語つて居つたとか。橘寺を出ると一村雨はらはらと降つて來た一行中傘をもつてゐるものは僅かに二三人、皆ヅブヌレの躰で吉野街道の驛藥屋源太郎といふ茶屋兼旅人宿に雨宿し中食をすましたる事約一時間、茲を辭して岡寺に行つた。抑も此地一帶は所謂岡本の宮の舊地で天智天皇のその宮門といふのが今尙ほ山門の側に古色蒼然たる樓門が保存せられてあるが實に珍しいものに拜せられた。その庭前に一小池があつて『龍蓋寺址』といふ立札がある。これなん夜な〳〵出でゝ人民を害せし大蛇を帝僧義淵に命じて法力を以て退治せしめたと云ふ傳說のある所である。岡寺を出でゝ畑の小徑を二三丁行くと『酒槽石』といふがある長さ一間幅四尺ばかりの表面に縱橫數條の溝が蜘蛛の巢のやうについて居る。古これで酒を漉したものだろうといふ所より田甫道を二三丁進むと愈々法興寺だ古鎌足中大兄皇子等と蹴鞠した當時は方何町といふ境內にて寺院も輪環の美を極め、鹿爪らしく高僧連も法衣の袖をかざして採曳して居たものであつたらうが、今は見る

影もない一小廢寺となり僅か方十間ばかり、しかも園田は東西南北より漫蝕してその軒下に達し、甍は破れ、樞は落ち、月常住の燈を掲ぐる外納所坊主一人居らぬ無住、本尊は所謂飛鳥大佛で、乾漆佛である、その當時は四民の渴仰を集めたものだらうが、今は大部分剝落して二目と見られぬ躰、水木教授にこれ程の由緒のある佛像がなぜ國寶にならぬのかと思ふと『國寶にすると修繕せねばならぬその費用は莫大なものになるから』とのこと、余は俯仰去る能はず『鎌足は此の邊にて靴をや捧げし皇子は彼處のあたりにて跪き給ひしなど想像はそれからそれへと果てしもない。傍に半ば傾いた鐘樓がある。一打又一打、音は廢寺の軒を掠めて遠く甘橿の丘の邊に消え恰も古の隆を語りて今の頽廢を訴ふるが如く響いた。それから形見に仝寺の瓦を拾はんものと其處此處と漁つた。幸にも方三寸ばかりの黛赭色の布目瓦があつた。何か寶石でも見附けたやうな心持で早速水木先生の鑒定を請ふた。先生は除かに頷かれた。此を辞し畷を西に通るとそこが所謂甘橿の丘で蘇我一族の邸宅のあつた所だ。今は雜木が繁茂して昔を語る何物も存在して居ないが、只其麓の畔道に一基の石塔が建つて居る。これが茲で入鹿が誅せられ、その首級を埋めた所で今以てこれを入鹿の首塚と稱へて居るのがあるばかりだ。彼の稻目の邸宅向原寺はこの甘橿の北麓飛鳥川に沿ふた所にある。昔の名殘とては只畑の中に一基の礎石があるばかり、その礎石は直經三尺余の圓形にして二段になつて居て、丁度鏡餅を二つ重ねた樣な形で太宰府の礎と同じ型である。近頃京大阪あたりの成金連が垂涎三千丈切に手に入れようとして居るが土地のものは中々承諾せぬさうだ。この直ぐ隣に昔臺恭天皇の代に探湯を行つたといふ古蹟がある。此を去つて行く散歩、道の左手に向原寺とリウ〳〵しく標札を掲げ佛法最初の寺と誇つて居る寺があるがその實元は高原寺といつて居たのを最近りの音の通ずる所より向原寺と改めたのだといふ。是より飛鳥川を渡つて大和山山田寺に向つた是で今日は飛鳥川を四度渡るはづだ。水木教授は矢立の筆をとりて『飛鳥川を四度渡りし日永かな』と書いて川原の石の上に置いた後から來るもの毎に皆足を止めて見るやうであつた。

大河内先生より

眞たま第六号を戴くとまもなく學校の臨海授業、其の時それをバスケットの中に收めて旅先で樂しく拜見いたしましたのが早くも約一年立ちました、承れば又々新しい其の第七号が御發行になるよし、私にとつては深い宿緣のある御校及皆樣方との間柄だけに特に樂しく待たれる次第です。私がなつかしき思出多い尾道を去つて當地にまゐりましてからもう滿一年半を經過いたしました、その間に於ける私の生活には別して御報告申し上げる樣な珍らしい材料も持ちませんが、只最も愉快に且つ最も樂しかつた事柄としては夏期に於ける臨海授業と、白山登山、寫生旅行の二つ位のものでせう、當校では毎年夏期になりますと七月二十日頃から、男子部女子部各々夫れ夫れ海岸に赴き水泳の練習を主として行ひ、身體の鍛練を致す事になつて居ります、私は去年始めて女子部に加つて縣下敦賀郡杉津といふ所で十日間を送りました、其處は敦賀灣内の一寒村ですが風光は極めてよろしく、海は靜かに、水は清潔で水泳の稽古には絶好の場所、大体の模樣は瀬戸内海の趣に近い處があります、毎日時を定めて水泳を行ひ、又時には講話會を催し、全く實地に生きた學問をするといつた譯なのであります。

生徒は非常に興味を持ち樂しく勉强いたします、その外昨年は音樂會を一回、寫生會並に展覽會を一回村の小學校を借りて行ひましたが、生ける大自然を背景として其所にかうした趣味深い催しは誠に意義深く眞に有効な授業だと思ひました。早や本年も其の時期が迫りましたので樂しんでゐます。

これを終つて歸宅すると、昨年は直ちに白山登山寫生旅行を試み、畫友一名と共に海拔八千尺の高山の絶頂に畫筆に親しみました、その記憶は未だ全く失せず愉快な印象を深く頭に止めて居ります、頂上には盛夏と雖も谷間には白雪が殘つてゐます、私共が頂上に達した時は暴風雨の襲來に遭ひ頂上の室堂に二晝夜殆んど死の苦を味いました、然し此のため心身の鍛錬上に最も良い機會を得ました。

暴風雨の去つた後晴れ渡つた時の頂上の風光は實に言語に盡せません、只話に聞いたばかりの高山植物の咲き乱れた御花畑などの光景を今目當り見た時又雷鳥の鳴く聲をはじめてきき時の愉快さ珍らしさ只天國に遊ぶかの想がありました。

此の大自然の印象を覺束ないスケッチに收めて歸來昨年十月、計らずも學校の火災に遭ひこれ等の紀念は全く燒失してしまひました。

火災は二回に渡つて其の損失は物質上にも精神上にも隋分莫大なものでした、再築も近々取りかかる事になつてゐますが未だに慘たる當時の光景の跡を止めてゐます授業も何かと不便を感じてゐますが新校舍の建築完成迄は辛抱して只今の所先づ愉快に勤めて居ります。

未だ々々申し上げたい事も思ひ出せば盡きませんがこれで失禮いたします、終りに御校の日に增し御隆盛ならん事と會員各位の益々御健全ならんことを御祈りいたします。

古山先生より

謹啓若葉の蔭日に增し懷かしさを加へ、鬱陶しき梅雨も早や眼前に逼り來り申候、大正四年六月十三日御地を別れて、茲に五年夏を過し來り更に六年ぶりの綠樹に親しむに立至り漫に歲月の果敢なきを感じ申候。

此間大河內君の福井師範へ轉任せらるゝあり杉野校長の愛媛師範、三宅先生の廣島縣廳等相ついで異動行はれ舊友の殘り居らるゝは僅かに三橋吉野の二兄と相成り申候、小生二年前の七月初旬當地(島流し)の身となりてより何時か一度は是非にと思ひつゝも今に尾道の地を踏む機を得ず殘念に存候、昨年十月より寄宿舍舍監を命ぜられ其名も高き栗林公園の東門前に乙種補習科生四十名の世話を燒き居り候。

此數日來暑さ頓に加はり公園の松も急に綠色濃く、暑苦しき夏と相成り候、それにつけても思ひ出さるゝは母校の諸先生を初め直接に敎を垂れし諸姉の御動靜に候、切に切に來らんとする暑氣に打勝ちて愉快に夏を送られん事を希望する次第に候(以下省畧)

秋山先生より

拜啓御書面有り難く拜見致しました。

皆々樣御達者で御勉强の御事何より御芽出度うございます、扨此度は『またま』第七號御發行の由去年も一昨年もうの前の年も御校のあの敎員室のあの机の上で淸い海氣を吸ひながら原稿書き——但極めて下らぬ——をやつたのに、只今は遠く離れた東京に在つて幹事の方から『最近の御消息を』とか『御

訓話を』などと言ふ御手紙を頂載する身分になつて終つたのですね、折角の御すゝめですが御誌に載せて頂く程の事も只今別してありませんから、讀んで頂くよりも讀ませていただく事に願ひます。

四月以來の耳の病氣が近頃になつて漸くなほりまして、私は毎日可愛い學生達と樂しく日を送つて居ります――御校に居た時と同じ樣に愈々入梅となつて毎日いやな天氣がつゞきます。御から御身大切に

三木先生より　（岡田先生宛）

（前畧）先達は眞たま御發行の由にて御手紙頂載致しました、こちらにまで何か送るやうとの事で御座いましたがつい〳〵いろ〳〵の雜事に追はれ今まで失禮いたしました、相變らずの生活で別にこれとてお話する材料もございません、毎日生徒と共に樂しく暮して居ります。

この四月よりは舍に關係いたして居ります。何かにつけ尾道の寄宿舍が思はれてなりません（中畧）今日は地久節定めし寄宿舍でも盛大な催しがある事と存じます、當校でも式後各學年共學級會をいたしました、寄宿舍でも五時より夜會が開かれます、只今生徒は準備に忙しく立働いて居ります。

去る五日には雨の中を東京に修學旅行いたしました丁度その折岡本茂子に遭ひましていろいろ尾道の學校の事など伺ひました、學校も其後先生方が大分御變りなされ定めし益々御發展の事と存じます、此度御發行のまたまもさぞかし立派に出來る事と存じ樂しみに致して居ります。（後畧）

内藤先生より　（岡田先生宛）

（前畧）次から次へと昔なじみの皆樣の思出を繰り返しましたが次ぎに私の事も少々申上げます、別に變つたことは御座いません無事に毎日勤めてゐますばかりでございますが尾道時代にいたしませんでしたことを申上げますと、郷里――と申ますこの二字に捕られましてお斷りを得いたしません女子小學校と會社（倉敷紡績）と敎會とだけへ參つてゐます。

小學校は月曜の全部を、會社へは水、木曜の夜分を敎會へは火曜日の夜分をこんな風にきめてその校外へ出ます事は私のやうにすべてに乏しいものにはなか〳〵の仕事で御座います。

小學校は四月末からで御座いますが色々の事情も御

座いますので、なんでもこの九月からはお暇が頂きたいものと願つてありますのでございます。お針なども私の好きなもの〻一つでございますがこんなに身体がせはしゆうございますので、すつかり打遺つてしまつてゐるのでございますが一つ〻でも、おひまを頂きまして、少し豫猶のある女らしい生活に這入りたいと念じて居ますのでございます。（後略）

牧田先生より

どうも申譯がございませぬ、一週間ほど親戚のとりこみでこた〳〵してゐましたので飛んだ失禮を致しました。

會員皆々様には御修養の結果は定めし御壯榮に御起居遊ばしてゐらつしやいますこと〻存じます、此の際十分の御愛護を祈ります。

當方御蔭を以て五口無事暮してゐますから御安心下さい先つは御答まで。

龜井先生より　（岡田先生宛）

（前略）こちらへまゐりまして四月二十二日の日からいよ〳〵本當の授業を府立第五高等女學校に致す様になりました毎日〳〵家から一時間余りかゝて通つて居りますあまり尾道に居て樂をした罪とあきらめて居ります。

生徒は二百名しか居りませず一二年生だけで面白く暮して居りますやはり尾道の時代を思ひ出してはあんなだつたこんなでしたと云つて今は昔語りの様に思はれて參りました。

卒業生の方にも楠生様は私が毎週土曜日に音樂學校のピアノ聽講科にまゐりますものでいつもその時御目にかゝります。

それからこの間は一色先生がわざ〳〵私を學校に御たづね下さいました、びつくりしました色々と話の種がつきませんで一日御話いたしました、先生には今年の冬に父上様を御失ひ遊ばしたのでゐらつしやいます。そして三つとか御不幸が御つゞきになりましたそうです、まことにお氣毒でした。

先生は今は大變御丈夫でもはや腹部の方は何ともなくおなり遊ばしました御目出度いこと〻御よろこび致しました（後略）

亡き人を偲びて

客員　平賀瑞夫
會員（二回）立上ヒサヨ
仝（五回）山根トシ子
仝（五回）佐藤シヅエ
仝（五回）行友房子
仝（六回）濱井ヨシカ
仝（六回）和田波子
仝（九回）桑原好子

前記皆様ノ遠逝メ悼ミ茲ニ恭シク哀悼ノ意ヲ表ス

大正九年七月　同窓會

平賀先生を偲びて

第八回卒業生有志

まあ何と云ふ事でございませう、私は再び耳を傾けて自分の耳を疑ふのでございます。

然しあゝそれは事實であつたのでございます。私等の小さい胸はたゝ驚きにふるへるばかりでございました。平賀先生の死、あゝ唯れか驚かないものがございませう。油繪の樣な山波の浦波をすべつて來た潮風がやがてやはらかな瑠璃山嵐となつて、春のおとづれ靜やかなる早春の午後私等は母校の應接間にぢット云ひ知れぬ哀愁に思ひをふけらしてのでございました。

先生の御郷里は尾道とは目と鼻の三原でございました。こちらへお出でになりましたのは大正五年私等の二年の時でございました。その頃の私等のクラスでは主任であつたあの井上先生がおかくれになりその次の主任上田先生は南方の豊島ボルネオへ行れて私等の心は浮き〳〵と落ち着きのない日々を過してをりました。りこへお出で下さいましたのが先生なのでございます。それから卒業するまで滿二年余りの長い年月を一方ならぬお世話になりまして、まだ

その万分の一も御思報じも致しませんうちにおかくれとはあゝ何と云ふかなしい事でございませう。この學校へお出てゐる間も病氣で缺勤せられる事は稀でございましたのにまあほんとに……

先生は實に温厚篤實なそして沈着なお方でございました。平素は余り多く云ふを好れぎ、然し又云ふべき時には、言語にをちついて出ると云ふ風、常に眼を書物にさらして新しい事、變つた事等よく聞せて下さいました。

又先生はテニスがお好きでございました。晝食後又は放課後等よくテニスコートにお姿を見出しましたよく後衛に立つてボーン〳〵と氣持ちのよい音を立てゝ居らつしやいました。

先生は又優しい、味はひのある文學がすきでした暑中日誌、冬季日誌筆の評、又は色々な物に書いてあるのを讀んでも、それとうなづかれるのでございます。あゝこの先生が私等が卒業して三ヶ月もたゝないうちに兵庫縣の小野中學校に轉任になりました。それ以來幾何もたゝない今日此頃には最早この世の人でないとは、あゝ人生無情とは云ひながら働き盛りの御時を病魔の手にかゝつてお果てなされたとはあゝ何と云ふおいたはしい事でございませう。けれども私等は信じます。死と云ふ魔の手が迫つて來た時……先生はあらゆる未練や煩脳をすてゝ潔きよく運命をおまかしになつたであらうと、一たん散り去つたものは再びもとへは歸りません。

けれども先生のあの徹底的な、ある事をどこまでも研究すると云ふ美しい、尊い精神は永久に人々の心に渡る事でございませう。

立上ヒサヨ様の
みまかり給ひしを悼みて

第二回卒業生有志者

意外なる君が訃音に夢ならば醒めよ、幼ならば消えよかしと、念じし事の幾度ぞ。

されどそは、夢にても、幼にてもあらざりし。

君はついに夕べの風にはかなくも散り行く花の運命を、あはれ身に受け、永久に歸らぬ黄泉の客とはなり給ひぬ。

あゝ、あの優しき　ほゝゑみにも、靜なる御聲にも再び接することなきかと思へば在りし頃の一しほ偲はれ、いとゞ悲しくうらめしき事になん。

君が高き望みと、多くの抱負とを持つて母校を去り給ひしより幾春秋、身を專ら育英に棒げ、未うら若き御身をもつて一意專心斯道のために、さほさゝんとの決心や固かりしに、月には雲、花には嵐の、常ならぬ世のならはしに、あたら有爲の君が前途を、むなしき天國に送らんとは、實に、實に、口惜しき限なり、されど逝まし君の、いかに歎ばとて、悲しめばとて、幽明境遠くして、駕うち返し給ふ由なし今は只、君がみ魂のやすけく眠り給はん事をこそ祈り上候。

さらでだに拙なき筆先は、あまりの御いたわしさにいとゝ乱れ候へども、つきせぬ哀悼の心を捧げ、まつらんとて謹しみて筆結ひ申し上候。

佐藤シヅヱ様(杉谷)
山根トシコ様のみまかり給ひしを悼みて
五回卒業生有志

年毎に、わが同窓會が發展してゆく一方から尊いなつかしい人たちを失つて行かなければならないといふことはいかに悲しい寂しい事で御座いませう。特に私達同級生の内にかうした不幸を見る事の多いのは何といふいたましいことでございませう。去年までに四人の魂を吊ふて今又お二人を失ひました事は返す返すも口惜しい極みでございます。

常々筆不性をして居りますものですから五十に足らぬ同組の方々の御消息さへ知らずに過して居りました處へ突然杉谷様がおなくなりなさつたといふ事を聞きましてどんなにびつくり致しました事でせう。流行性感冒のためしかもそれが豫防注射の後が惡るかつたのが原因で可愛い赤様まで御一諸にとは何たる悲慘事でございませう。御在學中は至つて無邪氣な質朴なそして大變御丈夫な方でした。御卒業までかなり長い年月雨の日も風の日もあの淋しい防地の山を越しての御通學は樂なものではなかつたと思ひます。それに一日の缺席も遲刻もなく熱心に御つとめになりましたあの御元氣な君がかうも短い御生涯であろうとは。ただただ夢としか思はれません。

山根トシ子様！訃音に接しましたのは去年の暮頃と記憶して居ります。四年間同じ教室で學び同じ寄宿舍に起き伏しいたしましたトシコ様どうして忘れる事が出來ませう。いかにも女らしくしとやかな落附のある方でした、丸々とお肥りになつて御丈夫ろう

にお見受けいたしましたが夜分など時々ねむれぬ等おつしやつていらつしやいました。

初めて寄宿舍にはいつてまだ日も淺い或日のことでした。靴下を洗濯するとて二人で一つの盥に水をくんで珍しまぎれにチヤボ〳〵よい音さして洗つて居りますとフト私の腕のあたりを見ながら『あなたのお手はなんでそんなに細いの羨ましいなア』て云ひながら御自分のと私の手首とをにぎり比べてゐらつしやいました。私はいつもあのシツクリと丸い腕の持主を羨しく思つて居りました。その時小供心にキツト私の方が早く死ぬだろうと悲しく思ひました。その私が却つて御悔み申し上げる樣なことになつたのが不思儀な樣こも思はれます。

消燈後お床の中にはいつてからあの特徴ある御聲でもつていろんなお話を伺ひました私の方が先にねむくなつてはつきりした御返事が出來なくなつてとし子樣を怨らせた事もございました思へば何といふ冷い私だつたのでせう。思出はそれからそれへとはつきり私の腦裡を往來して共に學び共に遊んだ當時がほんとに慕はしうございます。御卒業後は兎角精神上の御苦勞が多かつた爲か御健康御勝れなさらない御樣子、時々承りましたがまさかこんなことになろうとは露思ひがけませんでした。

噫呼！お二人の御生涯は實に短いものでございました無限の望と任務とを殘してさぞかし殘り惜しう思し召した事でございませう。

前途多望の御両人お失ひになりました御両親樣もどんなにか御歎きでいらつしやいませう。御察申し上げては遙るかに同情の涙にくれて居ります。おなつかしさの余り失禮もかへりみす思出の一節を認め謹んで御悔み申上げます。

行友房子樣の御逝去を悼みて

第五回卒業生有志

生者必滅は世のならひとは申しながら四年といふ長い月日を學屋に机をならべて共にいそしみ睦み樂しく過した友でありましたのを業おへて名殘惜しい袂を分つて四年もすぎた今日こんな悲しいおしらせに接しやうとは神ならぬ身の夢にも思はぬ事でした。かへす〳〵も御のこり惜しく限りない悲しみにとざされるのでございます。御卒業後は御慈愛深き御両親の下で日々の御修養怠りなく大變御健やかに御過

しでございましたのに如何に運命の神の惡戯とはいひながら希望に充てる年若き君が永い前途を思ひまとすおいたはしさに胸はふさがり拙い筆も乱れがちになつてまいります。併しながら歎いたとて甲斐ない事でございます。今は只々亡き君がみたまのやすかれと祈るのみでございます。

和田波子様の御逝去を悼みて

第六回卒業生有志

私達は昨年濱井様を失ひ又こゝに和田様を失ふとは何といふ悲しい事でございませう。

かねてより御勝れにならない事は承つて居りましたが今悲しい御しらせに接しやうとは夢にも思ひませんでした。常なきは世のならひとは申しながら君が永い前途を思ひますと涙は止め度なく頬を傳はるのでございます。いつかも御見舞に伺つた時『同窓會にも行つてみたい』など仰つた事を考へましてもどの位の思ひを殘してお逝きになつた事だらうと又しても涙にとざされるのでございます。

あゝ何もかも恨多い思出の種となりました、散つた花は再び枝にはかへりませんが只この上は君が後世の御幸福ならんことを祈るのみでございます。

濱井よしか様を悼みて

第六回卒業生有志

冷い雨がそぼ〳〵と落葉にそゝいで机のそばの火も何時しか灰になつて居りました。私はかうした雨夜の淋しさに聞くともなく淋しい雨の音を聞きながら書物のページをくつてゐる時おもひがけなくよしか様のおなくなりになつた悲しいしらせを手に致しました。私はあまりの事に幾度か自分の眼をま疑ひした。うして只呆然とするのみでした。御様子は時々お父様やお姉様の御たよりで伺つては居りましたがまさかこんなにならうとは思ひませんでした。こんな事になるならなせあの夏御目もじした時もつと〳〵しみ〴〵御話しなかつたでせう。よしか様もあの時にはこと更御目に故しらぬうるみをみせて過ぎにし學生時代の樂しい思出を御語りになりましたがあゝ思へばあれが永久の御別れなのでございましたかりそめの病が元となつて半年からの病院生活はよしか様には、どんなにか御淋しかつたでせう。毎日〳〵の單調な生活にどんなにかやるせない思ひをな

すつた事でせう。

『もう一度元のやうに丈夫になつて樂しく御話したうございます』など書かれてある古い御たよりを見る毎にその紙にしみ入つたなつかしい墨の香が今になつてはいひしれぬ悲しみの涙をさそひます。なつかしい思ひ出の數々も今は空しく形見となつて只共に過した日がいたましくかへりみられるのでございました。

十一月二十三日どうして忘れる事が出來ませう。君逝きましてもう幾月か過ぎました。けれども深く刻まれたなつかしい君の御姿は今尙私の心を去りません。此上はとこしへに安き眠につき給ひし君が御冥福を私共は心から祈りませう。

身にしみて時雨はろ〳〵降る夜を
一人悲しく亡き友をおもふ

桑原好子樣を吊ひて　第九回卒業生有志

夕べを告げる入相の鐘の寂しく我が家に訪れて庭の木々に歌ふ風の音も、靜かにひぐく日暮しの聲もすべて悲哀を告げて居る私は木蔭に腰掛けて一人思ひに耽つて居たすると一人の友が來られ桑原樣の御逝去をしんみりと語られたあゝ私の此の時『無常々々』と心中一人くり返し心は千々に乱れつゝ涙にうるんだ兩の目はうす暗い夕闇の中にキラ〳〵と輝いた月は皎々と冴え渡り、青白い光はすべての物に長い影をうつして居る。無數の星は無き人の御靈の如くかすかな光を放つて居る。あゝ寂しき死骸は靜けき墓地に眠るとも君の御靈は今何處に雲の果しか地の果か大海原の其の上、私か思ひはるれからるれへと走つた。あゝ十八歳を一期として堅き蕾をもぎとられ野末の露と消えられし君の歎きはいかばかり、將た父母君の御歎きは……思ひ浮ぶも涙である。あわれ此の世に有りし時同じき窓に學びし時いつも御影は閲覽室の片隈に又校庭の木蔭に二三の友と語られた殊に文學に趣味を持たれ何時も片手に本を持ち作文を何よりの樂しみとして時々畫筆に親まれ何時も我々同級生に快活な態度で御接しになつた。

一度共に學校に行つた事があるそれはもう腹膜炎で長く學校を休まれて足を運ぶも苦しいと云つて居られた頃である『私はもう一年補習科で學びます』と言はれた新學期は來た而しなつかしき御姿は見出せなかつた私は心配して御友達にたづねたすると寂し

き病の床に臥して居らつしやるとのこと、私は何時も御全快を祈り又樂しき學び家の集ひを常に願つた而し幾日經ても終に御姿は見えなかつた。

あゝ私には卒業式の當日がいよ〳〵最後であつた。あの時は靜かな春雨がしつきりなしに降りつゞき四方の景色も物寂しく呼び交ふ雀の聲さへもあわれに耳根に殘つて居る自然は私に最後を知らしていたのかも知れないじつと目を閉じれば有りし昔が幻の如く頭裏にさまやうあたりは森と靜まつて物音一つも聞えない。大空はやはり寂しい輝きをつゞけて居るあゝ桑原樣は今あそこに居られるのだらう『幸多かれ』と幾度もくりかへして大空をあほいだ。

會員消息

哺乳に就て

中川秀子

私は今六才と三才になる二人の女兒の母となつて居ります。育兒に就ては、誠に淺き經驗しか持つて居りませんが、哺乳に就て少しお話して見たいと思ひます。壯健な子供を生育致しますには。最哺乳兒を壯健に育てる事が肝要であろうと思ひます。哺乳兒はよく胃腸を冒され易く御座居ますが哺乳方法に注意致せば余り其憂はない樣に思ひます。赤兒が泣きさへすれば情に引かされてつひ乳を呑ましますが、誠に危險な事で之は赤兒の爲にも却つて苦痛でありまして、又胃腸を害する原因で御座います。殊に夜など度々赤兒が目覺めて泣きますと母親も共に目覺めて充分安眠する事が出來ません。其爲種々身体に害をうける事等有ます。之には哺乳の時間を定める事が必要で御座います。私は出產後一ヶ月位は晝間は二時間乃至三時間置、夜は三時間乃至四時間置きに哺乳せしめ殊に夜間は成べく時間を遠ざける樣にして、一ヶ月後は晝夜三時間置夜間は一切哺乳させない樣にして居りましたが、段々生兒も母親も安心して氣持よく眠る事が出來まして、生兒の爲にも良い樣に思はれます。夜間一切乳を與へぬ習慣をつけますには、始は非常に泣き入るものですから可愛想にと思ひますが、之を放置して居きますと泣疲れてすや〳〵と眠みます。こうして五夜位で一切起きぬ樣になりました。どんなに世話が入らぬかわかりません、私の知人のお子樣が生後三四ヶ月をへておられ

ましたが、其御子樣が非常に弱くて常に醫師を迎へて居られました。所が私の經驗談を聞かれ其通りに致されましが、其後は誠に元氣强くなられ大變御丈夫な御子樣になられた例も御座います。

山口つね子

前畧御許し下され度候、今回眞たま御發行に就き近況御尋下され誠に有難く存じ候。左にほんの要領のみを申上其責を果すべく候。

一私事大正八年三月良人の明治大學入學に伴ひ上京致候、住所は表記の所に御座候。

二上京後私事井上敏子樣の御世話にて日本電氣株式會社に勤め夜はタイピスト學校にて英語速記薄記機械の練習等致候。何分一日中勤めを終へての事故かなり疲勞を覺へ其上卒業後三四年目に英語の書を開きたる次第なれば隨分苦しみ申候。只今にては英語もやつとわかり會社の仕事にもなれ申候

三卒業後別に研究も修養も致さず、其日其日を多忙に暮し居候。最初の程は都會生活になれぬ身なれば隨分不經濟なる事も之有候も今日にては生活等も余程經濟的に相成生納の上にも表はるゝ樣相成申候。諸先生の御指導其よろしきを得たる事と今更ながら感謝致居候。

四井上敏子樣は只今御里九州に御歸省中に御座候。

（佐賀縣藤津郡濱町井上博補樣内）阪本先生は、相變らず御熱心に女子青年會にて快活に御活動いたされ、殊に職業婦人の爲にとて、夜分種々なる催し有之、私共少からず便宜を得申候。此頃一週三度、午後五時より簡易なる西洋料理ミシン等の講習を開催され在京中の妹と共に御指導を仰ぎ居候時々母校の皆々樣の御噂いたし、なつかしく存候都會だけに、生存競爭も激しく日々神經を刺激され、寸時も油斷なり難く候。最近女子も非常に覺醒いたし、女學校卒業生の思想も、以前の如く虛榮に捕はれ、輕兆不薄なる考なく、余程堅實にして、空想に耽る等の事無之、實際的と相成申候。府立の或女學校の同窓會雜誌中の『歐洲戰亂に就きて』と題する文を讀みて、現今の女子が如何に自覺したるかを伺ひ知り申し候。自分はそれを讀み、非常なる愉快を覺へ申候。其他政治的方面に對しても、女子の自覺といふ事が、いよ〳〵表はれ申候。自然讀書力も進み、學校に備付の書物は

申すまでもなくどし〳〵先生にお願致し修養をなし居らるゝ事に御座候。其他申述べたき事多々有之候も、紙上に限りある事故之にて失禮致し候。終りに望み、諸先生並に同窓の諸姉の御發展と御健康とを祈上候。

柏原ミヂキ

書きたてる程の研究修養なく御恥かしい次第でございます。誠至らぬ乍らも周囲の皆々より喜ばれ、自分も物質上にも精神上にも何の不滿もなく實に面白くてなりません。眞に感謝的情念に滿されて暮せる心情となつた事を喜んで居ます。

イ日常の趣味

日常の趣味として手藝(料理、袋物、編物)でございますが此頃痛切に趣味を感ずるは私に對する近き人々(店員、下女、親類の女の子達)が皆眞に可愛くて何所にか美点を有してゐる事を認められ又少しでも之等の人々を精神的生活にはいつてもらひたく祈り美化したく祈り之に趣味が出て心美しくなれば嬉しくて〳〵他の苦勞は何の苦とも思ひません。

ロ日常の仕事

八九人の家内の中女は私一人ですからまあ主婦兼女中となつて一家團欒の中心となり家事万端に沒頭犧牲となつて居ります。

參考となるべき經驗

イ雜誌について

多くの有益なる雜誌が續々と出版せられ皆様は大抵一種はお讀みになつて居りませうが、それに今一種是非共精神修養に御心掛けの方々におすゝめしたいのは『希望』といふ雜誌でございます。私は此希望によつて如何に精神を鼓舞せられるかわかりません。之は東京の希望社の發行です、毎月皆様のお小遣ひ十錢位を御倹約なすつて御求めになり御一讀を伏して御願ひ致します。若し内容を御覽になりたうございましたら御端書で一寸御知らせ下さいませ。今迄のを送本して御目にかけますから、直接申込希望の方は御端書でも振替でも「愛讀者誠の話による」と御書添へ遊ばして下さいまし。

ロ能率增進につきて

如何なる仕事も喜んで自分のものとしてなければならないと思ひます。

父兄弟の世話は何とも思ひませんが店員がおけんた

いで洗濯箱へ汚物を投げこんで行くのを洗ふのはその時は何だか馬鹿らしいといふ感じがその瞬間にひらめいて居りましたが、この節はそれと反對に『馬鹿あ人を使はんと思へばは使れよ、さなくば眞に人を使ふを得ず』といふ事を思ひ出し之も自分の修養の爲だと思つたらろの洗濯箱へ入れのが可愛くなり、出す片端から洗つて綴つて又縫ふて各の入物へ入れる彼等のよろこぶのがうれしくてたまりません。

尾田コヲサ

去年の春嫁が先の坂井原小學校に轉勤して家庭から二十町ばかりの平坦な道を毎日通勤致して居ります卒業後既に五星想、可なり長い月日でありながらこれといふ研究も修養もせずやつと一日一日を無爲に過して今日まで參りました。

日常の趣味つて取りたてゝ申す程のものは御座いません。只今一年三ヶ月になる女の子の日々に色々なことを覺えて呉れるのと學校で人樣の子のお世話をして頂くとで総べてを忘れてやつて居ります。

子供は前記娘が一人ゐます。親として誠に無責任の樣では御座いますが教職といふものが御座いますから朝と晩一寸世話するだけでゑく姑の手一つで育てられてゐます。然しこれだけでは我が子に濟まぬ樣な氣が致しますので彼の今後の教育上の參考にもと育兒日法だけはつけてゐます。

二六時中念頭を去らないのは自分が不準備な身で家庭の人となつた口惜しさで御座います。一度家庭に入りますともう自由はきかなくなります。況して母となりましては學校のことから子供の世話で自分の不準備をつぐなつてゐる暇はありません。娘時代に何故も少し忙しく修養即ち準備をして置かなかつたかと後悔して居ります。今頃では折角好機會が御座いましても子供が居るからまあ差控へ樣などゝそれは〳〵あはれなもので御座います。

どうか皆樣お一人の時代娘時代に於いてしかと御準備あるばされんことを祈ります。

龜山お久

上野の櫻よ、あすか山の櫻よ、とさわぎ立てた春もいつしか青葉の頃と相成りました。其後はとんと御無沙汰のみにておわびの申上げ樣も御座いません。惡しからず御許し下さいませ。五月雨のうつとうし

い此の頃諸先生はじめ同窓會の皆様には御變りは御座いませんか御伺ひ申上ます。扨此度眞玉御發刊につき私にまで何か通知せよとの仰せで誠に嬉れしく存じます。然し私のこととて別に申し上ぐる程の事柄も御座いません。只々平素の御詫びかたゞ〳〵御伺ひまでに申上げます。私もおかげ様にて相變らず達者で今は二才の子供を相手に何かと事しげく日を送つて居ります。初めて親になつた私は最初のほどはあれやこれやと心配もいたし案じもいたしましたが、今ではまことに丈夫になり、又私もなれてまゐりましたので却つて樂しみもまし子供も面白くなりました。毎日の疲勞もために忘れて居ります。

學生時代には何も頭にさへあれば直ちに使用せらるるものの様に考へられましたが、申すまでもなく社會に立ちてあらゆる浪と戰ふには矢張り實地經驗のつんだ者の勝利で御座います。今では日毎に事多くなるのみにてこゝよあそこよと菖蒲を愛で菊を愛づる暇はございません。けれども時折隅田川のほとりに立つ夕べなどは一層母校のお懷かしさが偲ばれてつい知らぬ小さい聲で『春のうららの……』歌もうたつて見ます。御皆々様淺草や上野のほど近くに住んで居ります故御上京のせつは是非共御立寄下さいまし御案内いたします。

今春なつかしくも鄕里に參りましたので必ず母校を訪れたく皆さまにも御目もじいたしたく樂しみに參りましたに、生憎汽車の都合にて其の時間を得ぬまことに口惜しく車中にて母校を眺めた時は實に殘念で御座いました。あまりくだらぬ事のみ長々と書きつらねました御免下さいまし末ながら皆様の御健康と母校の御發展とを遙か東の地にて祈つて居ります。

河野キヌエ

只今はおぼつかない身にも一家の主婦となつて復雜な家事に失敗ばかり重ねながらも樂しい日を送つて居ります。

別に取立て申上げる程の研究も修養も御座いませんため好きな活花、讀書料理、園藝、かうした氣まぐれに日が暮れて了ひます。

時折主人に連れられて旅行致します事等を樂しみの一つです。今年は二人で草花の手入れをいたしますの

で、春淺い頃からずつと澤山な花が咲きました。練習いたしますだけの切花は宅の茶園で作つて居ります。仕事と申しましてはお洗濯位でございます。卒業後痛切に必要を感じますものは日々の食事を賑はせますお料理でございます。一日の半を費して毎日のお惣菜にも可成りな注意を拂つて研究致して居りますが田舍のことと學ぶべき良師も御座いません事等殘念に存じます。私は出來ますならば女學校の割烹時間がお裁縫の時間と平均して居て欲しいと思ひます。

落久保愛子（旧姓杉本）

（前畧）私事四月十日に當落久保に嫁し、間もなく良人上海轉任を命ぜられ去る二十五日に内地を出發致しました。二十七日に上海の港につきましたが日尚淺き私には市の情況等まだわかりませんから其内内地より變つた事どもの点は追つて御一報申し上げるつもりでございます。（後畧）

高原千代鶴（旧姓砂川）

（前畧）私事一昨年十一月表記の所に入嫁いたし只今は毎日電車にて榮町の店へ通つて居ります。なれますに從ひ面白味も出て參じました、力一杯商業のためにつくしてみたいと思つて居ります。趣味と申しましても別に御座いませんが、盆景を少し習つて居ります。やう〳〵生家を放れました私の修養とか研究とかいふ餘裕はございません。只家政の法や處世法を見習ふといふ事で一杯でございます。從つて育兒の經驗もなく皆樣方よりいろ〳〵參考になります事を誌上で敎へていたゞく事を樂しんで待つて居ります。（後畧）

吉田菊枝

（前畧）卒業後四ヶ月程にて本店の方へまゐり居候。造酒業をいとなみ卸專門に致し居り候。本年は前年度の數培も增釀いたし、倉人も拾五六人まゐり身を切る樣な寒い〳〵夜草木もねむると云ふ二時三時頃勇氣にみち〳〵た倉人の歌ふ聲が毎夜ひゞき渡り申候。何事に致せ世事に暗き私せめて讀書致したく常に讀書の時間をうる事につとめ居候。本年四才の長男、今年一月生れ次男と二人の子供御座候。兄はほんとにいたぞらにて、丁度ポンチ畫の茶

目坊そつくりにて日日二三度顔手足等洗はせられるには實に閉口いたし候。小さい方はお乳のむ事。泣く事。よりほかには何も存せず此頃やうやく飛びながらよろこんで笑ふやうに相成申候。私事卒業後も相變らず健康にて平凡なれど面白い愉快な日を送り居り候。（後略）

佐伯ミサホ

田舍の寂莫を破る入相の鐘を聞く度毎に。千光寺の鐘を連想すると共に恩師や母校並に同窓の皆樣が懷しくてなりません。

田舍に平凡なる生活をして居ります私には。何とて別に申上る樣な事もございません。卒業後間もなく養女として當家にまゐりました。爾來至極健にて養父母の膝下にて只管家事にいそしんで居ります。家族とては両親との三人實に呑氣です。

毎日の新聞や愛讀の婦人公論何よりの友として別れし友よりの便りを樂しみに過して居ります。こんな次第で皆樣の參考にして載く樣な記事をのせる事の出來ない今の生活を不滿に存じ意義ある生活の出來ぬを遺感に思ひます。

福永千代子

卒業してから第四回目の同窓會誌發行

夢より早く三ヶ年の月日は過ぎ去りました。

りれもその筈お仰嘶の譯にも困つてゐたものが此頃でハシェクスピーヤがどうのブラニングの人生觀がどうだのと生囓りをいふやうになつたのでございますもの。

ぢつと目を閉ぢます——なつかしい校舍——庭——教室——キャプランボール——海老茶の袴の元氣に滿ちた少女——これ等のものが一葉の繪となつて現はれて出ます。私の淋しい時。悲しい時に。慰めてくれるものはこの繪なのでございます。

皆樣如何お暮し遊してゐられるのでせう。おなつかしう思ひます。私には單純な三ヶ年半の寮生活でございましたが。寮の小さい窓からみます世間の有樣其變化は實に驚く程でございます。殊に思想界の變化は如何でせう。一寸うかゝして居りますと知らぬ間に一世紀二世紀後れたものになつてゐます。常に新刊書新聞雜誌によつて世間の趨勢を自己の生活との調和をとつてゆかねばならぬと思ひます。

塾でもこの考へから時事問答の。或は社會問題研究

の講演等によりまして社會により近づける樣にしてゐます。いふまでもありませんけれどもこれからの私等は女のたしなみの裁縫お料理お茶お花と同じく社會問題文學美術音樂に對して相當なる理解力を持つて進みたいと存じます。そうして圓滿に發達した常識の所有者となりたいと存じてゐます。

昨年夏阪本先生が御歸朝になりまして以來ずつと女子青年會の方で御活動遊ばしてゐられますので何となく心强く勉强してゐます。時々壽美谷さんと二人を音樂會などにお招き下さいます。

丁度これを書きかけてゐました昨日上村先生が御上京遊ばしてゐられましたので女子青年會で上村先生阪本先生の外二三名の同窓生との小さい集りをいたしました。上村先生には五年ぶりでお會ひしたのでございましたが尾道當時よりも一層御元氣の樣に御見受けいたしました。五年といふ月日が消え去つた五年昔と現在とを結びつけたやうな氣が致しました當時の先生方のお顏が次から次へと浮び出て私等の樂しい追憶の種となりました。先生方ろうして皆樣御想像遊ばして御覽なさいまし、多分昨日の私等と同じ事を御思ひ出しになるでせう。

皆樣の御樣子を知る事が出來る會誌發行を樂しんで待つて居ります。

最後に母校の發展先生方同窓の皆樣の御健康を祈ります。

平井淳子

五月雨時はとう〳〵參りました。給水場の若葉に注ぐ雨めいる樣に淋しく聞えます。夕べ仰せに從ひまして何か書くべく筆をとりましたが何を申上げてよいやら御承知の勉强をして居りさへすれば人に喜ばれる單純な學生生活でございますが昨年と變化致しました學校の樣子や私達姉妹の近狀の思ふまゝを順序もなく申上げます。

時代の進步要求に基きまして私達裁縫を主と致します學校に於きましても哲學が正科となり英語は隨意科として一週四時間ございます。高師三年の科目は國語哲學國民道德修身作法割烹法令教授法家事衣類管理教育等ございます。裁縫は和服を終へて洋服に移つて居ります。衣類管理では專ら絞染の實習を致して居ります。嚴しく急がしく苦しいと申さるゝ私達の學校は私の今迄の經驗によりますとなすべき時に

は自己のベストを盡したなら決して急がしくて苦しいなど申す事はございません。午前八時より午后三時まで授業を受けて歸宅し食後は運動の爲め本郷三丁目の賑やかな通を過ぎ帝大の脇より池の端に散歩に出かけます。不忍池を一廻り致し上野より歸れば心がすが〳〵致します。良い空氣を吸つた私達は六時より九時まで勉强し十時就寢と定めてゐます。土曜日は學生にとりましては樂しい日で一週間にありしこと其他種々の話をして笑ひ興じます。又土曜日曜は大抵諸大學青年會館などで名士の講演がございますのでかかさず參り修養につとめてゐます。

福永様より上村先生が御上京遊された由御知らせ下さいましたが夜九時頃のため殘念乍ら御會ひ致すことが出來ませんでした。昨年十二月東京支部同窓會が神田の女子青年會館で開かれました。阪本先生一色先生を始めかなりお集りなりまして數々御話を致しました。誰憚るところなく話は玉の浦曲の美しさや大寶山の夕景色の噂で花が咲きましたそして故郷戀しさ母校なつかしさの情を一入こく彩どらせました。ほんとに同じ市内に居りましても御會ひする事は稀でございます。近々皆様に御目もじ致すことが出來ますのでその日を指折り數へて待つてゐます。學校の御發展皆様の御健康を祈り上げます。

生酒コト　相變らず母校の爲に御盡力を願つて居ります。家事にお忙がしいのに何から何まで御世話下さいますので感謝に堪へません。此節はあまり御健康がお勝れにならない御様子一日も早く御丈夫になり遊す事を祈つて居ります

小西サト　今春宮島なる小西家へお嫁きになりまして以來家事に御いそしみです

井出上千代花　只今は御都合により當市におすまいでございます。康子様といふ七才の御子様と艶子様といふ三才の御子様の母として育兒や家事の整理に急がしく御暮らしの由

河本キヨ　相變らず御子様の御世話や家事に御忙がしく御過しでございます

御たよりは次の通り

一、別に變りなく過して居りますが昨年小供がなくなりましてから少し体質が弱くなつた様に存じます

二、子供の世話や家事に急がしく日々を過して居り

ます

三、子供は唯今六才になるのと二才になるのと二人居りますが昨年の夏三才になる女の子が疫痢病といふ恐しい病氣で僅か一日半程の患ひで亡くなりました。之も始めは一寸した下痢位に思つて居りました。それでも時節柄豫防注射丈けはしてもらひましたが何分病氣の變り樣が急な爲藥のまはらぬ内にとう〳〵かへらぬ旅に出立ちました。かへす〳〵も可愛想な事をしたと存じます。何分子供の病氣はよくわかりませんから充分注意しなければならないと存じます

岡本ウラ　此節は御健康が勝れさせぞ御養生の爲當市へ御越しの由御自愛の程を祈る

長谷川フミ　此度長谷川家へお嫁きになりました只今は糸崎なる御實家に御暮らしです。糸崎支部幹事として本會の爲に御世話下さいます

來留島カメコ　東京支部幹事として母校の爲に御盡力を願つて居ります

野村　光　昨年御結婚遊しました由

野村喜代子　御丈夫で長江小學校におつとめになつてゐらつしやいます。御忙がしい中にも相變らず本會の爲に御盡し下さいます

藤居フデ　この節は御實家の小賣部の方をなさいますとの事で當市におすまひでございます

吉岡繁子　御養子をおむかへになりまして近頃母樣におなり遊しました由

高田ミキノ　御變りなく御暮らしでございます。本年一月御次男を御出産遊ばしました。去年御長男をお失ひ遊ばしまして今は一人の御子樣の御養育におつとめでございます

厂のつて

宇坪ヒサヨ　質屋の女主人として御動きのうち昨秋御良緣あつて御養子を遊はされ近々母君と御なり遊ばす由

古谷スエヨ　御主人樣の御洋行につき里方の吉和の御實家に御子樣御あいての靜かな月日を御送りの由

繁田チヨ　米國にあつて得意の御生活を遊ばさるゝ由折々は母校へも御便りを

立上ヒサヨ　弟さんの御養家へしばらく御同居遊ば

していらつしやつたものですからいつの間にか岡本と改名されてしまつたとよく申してゐらつしやいましたが。〇〇〇賣る大路に聲を聞く樣になつた今日。亡き人の數に入り給ふたと承まはり。一入の思ひに心も乱れます。生きんとして生れ給ひし君も。のろはしき運命の神の犧牲となり給ひし?。噫

中川秀子　いつも〳〵同窓會誌のために御便りにそへては御經驗談やら御意見やらを御寄せ下さいます事を感謝致します

渡邊キヨ　昨年のバザーの時御改名遊ばした事も御住所も承まはりましたのですがつい失念致しましたが御存じの御方は御報せ下さいまし

第三回卒業生

三坂カメ　去月御主人樣が御亡くなり遊ばし給ふ由未だうら若き御身には一人子を杖とどんなに淋しい月日を御送り遊ばす事でせう

小川のぶ　相變らず御父君の看護に日を送り給ふ由一日も早く御全快遊ばす樣祈ります

松尾なほ　東京の方へ御轉任とか少しは御便りを御願ひ致します

楠生ミネ　御姉妹方と共によく母校のために御盡し下さいます

栗原フサ　母校の幹事として楠生さんと共によく御心ぞへをして頂きます

杉野リウ　東京の方へ御轉住遊ばし先日古里なる當市へ御歸り遊ばしましたが御健康の御樣子に拜しました

橘高キミヨ　御二人の御子樣の母樣となられし由

藤田禧子　去月御父君をうしなひ給ひし時一寸里方で御目にかゝりましたが少しは裏日本の有樣を母校の皆々に御報せ下さいまし

河野くに　ちつともお噂を聞かなくなりましたが少しは御便りを

原田政野　先月御養子を遊ばされし由

政池つな　バザーの時御目にかゝりすつかり立派な教育家におなり遊ばしてゐらして母校の事業（同窓會本部）をはげまして下さいました

增田由己子　バザーについていろ〳〵と御盡力にあぢかつた事を感謝致します

山口ツネ　御良人と共に東京にゐらせられる由

若山帛世　いろ〳〵と同窓會のため御應援にあづかりました事を感謝致します

第四回卒業生

尾田コワサ　今は二才におなりにな可愛女兒樣の母となられ御教養怠りなく坂井原小學校に御奉職中

柏原ミユキ　昨年御退職なされ今は若松で父上樣の商業の方でお手傳ひに餘念無之御樣子先月母校の同窓會で一寸お目にかゝりました相變らず御丈夫で精神修養に怠りはあられません御消息は別にかゝげました

時山マサヨ　御良人樣台灣に御轉勤なされし爲め目下は基隆にお住ひの御樣子本年の二月に目出度赤樣御出產なさいました

惠谷清子　昨年の夏十四日町の惠谷家へ御入嫁なさいました御壯健で新婦人として家事にお忙がしくお過しなさいます

村上ヨシ　相變らず教育家として網の女學校に教鞭を執つて居られます

龜山お久　龜山家へ御入嫁遊ばされ東京にお住ひなさゐます只今は二ツにおなりになるお子樣の母として樂しき家庭の人となられて居られます御便りは別紙にあります

小川春江　三原女子師範學校に教鞭を執つて居られ御熱心に研究的に体操裁縫を御受持になつて居らるゝ由

小西ハル　先日御養子樣をお迎へなさいました本會幹事としてお盡し下さいます

大西良　御壯健でお忙がしくお暮しなさいます御樣子快活な奥樣姿一度拜見致したいです

片山亮　御出產遊ばすためしばらく實家へ御逗留でしたが本年四月に可愛らしい女のお子樣をお產みなさいました今は大阪へおかへりになつています

砂取カヤ　二才におなりになるお子樣の母樣となられました由御良人は目下東京にて御勉强の由御便りでございます

立神タネ　今春東京の高等師範學校を目出度御卒業なされ大分縣の去る女學校で教鞭を執つて居られます

鞍掛トヨノ　同市に住み乍ら卒業後お目にかゝりません然し御壯健で一家の主婦としてまた母樣としてあれこれと樂しくお忙がしく御暮しなさいます御樣子

高垣シゲノ　御丈夫でやはり土堂小學校におつとめ遊してゐらしやいます本會幹事として何くれとなく

御世話下さいます

第五回卒業生

村井テツ　しばらく御良人様と共に臺灣の方へ御いでになりましたが先頃久方ぶりに御歸國只今は松永なる御實家にゐらつしやいます

井上安子　只今大阪の方へ御住ひの由近頃御樣子一向承りません是非御知らせを願ひます

大山芳枝　大阪なる村田家に御嫁入り遊ばしました

楠生フミ　音樂學校にて御熱心に御勉强中

黑川美佐代　去年御養子を御迎へ遊ばしましたお小さい時から御一諸に仲好くお過しになりました永井樣も御結婚なさいまして以來淋しくお暮しになります由

小林イチ　長らく眼病にて御不自由なさいましたとか近頃はいかがでございます

河野きぬゑ　前年御養子御迎へなされ御壯健にて樂しく御家庭内にて御働きなさいます

小西シヅ　相變らず御熱心に本會幹事として御盡力下さいます

武内キヌヨ　可愛い赤樣御生れになりました

砂川千代鶴　神戸なる高原家に御入嫁後毎日電車にて榮町の店へ御通ひなされ非常に御熱心に商業のために御つくしになつてゐられます

杉本愛子　四月十日落久保家に嫁がれました御入嫁後程なく御良人樣上海に轉任遊ばし只今は共にあちらにゐらつしやいます

田中喜久惠　御壯健にて本會幹事として御盡し下さいます

德永ユキエ　東京の方へ御嫁入りなさいましたとか詳しい御樣子承り度う存じます

永井チサト　因島なる村上家に御入家致されました記念式の節は昔に變らぬお健かな御姿を御見うけいたしました

西永ミサヲ　昨年秋頃より眼病にて一時盲目となられましたそうですが昨今はよほど御快方に向はせられた由吳々も御自愛の程を

藤田セイ　永らく本會幹事として一方ならぬ御盡力にあづかつて居りましたが御良緣あつて去年豊田家に御入嫁只今は御良人樣と共に東京に樂しい御家庭をお作りになつてゐられます

吉田キクエ　はやお二人の坊ちやんの御母樣として相變らず御壯健に愉快な日をお送り遊ばしてゐらつ

しやいます

第六回卒業生

池田マサコ　相變らず御元氣で御勉强遊してゐらつしやいます

平　芳子　昨年四月御結婚遊し只今は吳におすまひなさいます

井上敏子　タイピストとしておつとめなすつてゐらつしやいます。先日は久しぶりで九州なる御両親の下へ御歸へりになつて居りましたが、又御歸京なさいました途中を一寸當市にお越し下さいました

井上千里　福山高女の補習科御修業後は專心家事にはげんでゐらつしやいます。お琴お花お茶日本畫などを御熱心になさる由

大久保清子　お裁縫や家事のかたはらお琴のお稽古に御熱心の御樣子

大西敬世　近頃は黑住敎の研究をなすつておいでです。ミシンの御練習や又御商賣にもなか〳〵御熱心の由

笠置學子　今年五月御結婚遊ばし樂しく御暮しの由

行廣キミヨ　近頃東京から御歸へりになつて居りましたが。御結婚なすつて今は大坂へ御住ひとか承りました

白石ミチ子　三原支部幹事として本會のために御つくし下さいます

田頭花江　御丈夫にて忙がしく御暮らしの由。御養子を御迎へなさいましたそうです

大西　勳　重井の大西家へ御嫁入り遊ばしたそうです

谷　靜香　近頃は英語をお習ひになつてゐるそうでございます。日日の修養怠りなくよく讀書もなさいますし、又刺繍の練習もなすつてゐらつしやいますいろ〳〵お家のお世話をよくなさはます御樣子

田村マツヨ　柳津村の學校におつとめ遊ばしますとか承りました

檀上リツ子　吳の廣上家へお嫁ぎ遊ばしました由を伺ひました

平井淳子　東京裁縫女學校にて相變らず御勉强遊してます。御たよりは別にかかげました

檜垣保世　今春めでたく和洋裁縫女學校を御卒業遊して只今は新居濱町立實科高女へおつとめなさいます

平岡重子　折角御生れ遊ばした赤樣をお失ひ遊ばし

ました。お淋しい中にも何かと本會のためにお盡し下さいます

福永千代子　相變らず御感心に御勉強中。東京支部幹事として色々御世話下さいます。御たよりは別項の通

村上ハルコ　福山の某家へお嫁きになりました由

小川サダ　昨年夏神戸なる小川家へお嫁きになりました。今年末あたり御出產の由

森谷千代　今春御結婚遊ばし樂しく御暮しの御樣子

木曾アサコ　芦屋なる聖使女學院で清い生活をしてゐらつしやいます

村上ミサカ　大坂から山口縣柳井町に御移りになりました。可愛赤ちやんをお失ひになりまして御悲しみの内にも平和に御暮らしの由

浦岡　辰　備中なる浦岡家へ御嫁きになり平和に御過しの御樣子

山本喜代

高橋正子

本會幹事としておつくし下さいます

兒玉千賀子　御丈夫にて家事においそしみの由

岩崎イト　相變らず御元氣にて御暮らしなさいます

兒玉禎子　近頃御出產遊しました由を伺ひました

竹田トミコ　當市の竹田家へ御入家なさいました

第七回卒業生

宇佐照子　御良人の御都合にて臺灣へ御住ひ遊してゐらつしやいます

島住ヨリ　今春島住家へ御入嫁遊ばしました撫順には日本人が少ないそうです支那語を御ならいの由樂しく御暮らしなさいます

木田淑子　本會幹事として長らく御盡力下さいましたが今春御結婚あそばして樂しく御暮しの由

岡野ゆくゑ　今春大阪なる赤十字病院へおはいりになり篤志看護婦として清き生活をなさる御準備中

川本キヌ

一、折々運動不足の爲病氣致す事もありますが學校時代よりずつと丈夫になり裁縫に夜ふかしまでし大變愉快なる事

一、處女會に行き精神修養の話割烹あんま等の研究をして居ます

一、田舍でこれといふ面白い事は御座いませんけれども前の築山あたり茶園等散歩しよい空氣をもとめ夕方は此處彼處と螢がりをして遊ぶ事やな

がめる事の出來る事を都の皆々樣に此よい空氣をおわけ致したいと思ふ事がございます

山口アヤ　大阪の方へ御嫁きの由を伺ひましたが其後如何御暮しやら存じません御樣子御知らせ下さいませ

福島キヨコ　御變りなく家事の御手傳ひかた〳〵御裁縫に御けいこ事にいそしみです

上月庸子　御姉樣の御嫁きの后はいさゝか御淋しき御樣子ですが相變らず元氣に暮しなさいます今秋あたりいづれへか御嫁ぎの由

小林君代　先般御養子を御迎へ遊ばし樂し御暮しの由

繁村マツ　何れへか御婚約とか伺ひました

高橋楠子　昨年九月御鄕里和歌山市へ御歸り遊ばし御變りなくお裁縫のかたはら謠曲野藥草木の御手入等なさる由

高橋良子　御變りなく御暮しの御事と存じます御近況お知らせ下さいませ

高垣當子　今春職業學校の家庭科を御卒業遊ばされ只今は御兩親の下にお裁縫のかた〳〵御稽古事御いりしみの由

坪田菊枝　御養子をお迎かへなされ近い内御出產の由

中山登代　今春まで大阪樟蔭女學校に御學びになりましたが中山家へ御入嫁御變りなく御暮の由

沼田艶子　六月御結婚遊ばされたのしく御暮の由

橋本順子　御變りなく御暮しの御樣子

濱原靜野　昨年御結婚遊ばされ又今春めでたく男子御出產の由

濱中瀧江　昨年三月御結婚遊ばされ今春可愛らしい御子樣御出來になり只今若き母樣として小さい方の爲めに御つくしなさいます

平櫛ミツヨ　先般お父樣をお失ひ遊し淋しく御暮しの御樣子又養子を御迎へ遊ばしたとか

藤野松榮　今春御養子をお迎へ遊ばした由他より伺ひました御卒業後大坂京都奈良伊勢東京方面へ御遊行遊ばされたさうです

細谷滿子　上方の叔母樣の許より裁縫の學校に御通ひなさいましたが只今當地にて御變りなく家事御練習の由御在學中木曾あさ子樣に御會ひの由を伺ひました

宮本綾子　御變りなく家事の御手傳ひかた〳〵生花

のおけいこもなされるとか
村井　駒　近頃では御ねつ心にピアノ御練習の由
山根定子　在學中よりもずつとお丈夫になり御元氣にて中々御働きの御樣子
中井イキヨ　昨年中井家へ嫁き遊ばし樂しく御暮しの由
三好文代　此の度三好家へ御嫁き遊しまして今は御主人と共に化學調劑術等を遊すとか承りました
今井高代　御忙がしい内にも母校の爲にお盡し下さいます近々の内に御養子をお迎へ遊す由
東　芳枝　相變らず御丈夫にて家事においそしみの由
楠生幸江　御丈夫にて家事に御熱心の御樣子
高山敏江　御變りなく家事におつとめで又よく日曜學校の小さい方達の御世話もなさいます由

第八回卒業生

天野　和　吉和の尋常小學校へ奉職して居られます
青木千代　よく家事をお手傳の傍ら御稽古事に御熱心中
石井貞子　近頃は福山の御親戚にて稽古事にいろしん居らつしやいます
石井芳子　お變りなくお暮しの由時折の山登り花摘を樂しみにして居られます
長井清子　今春お嫁入り遊ばしました由御消息お知らせ下さいませ
泉谷カト　郵便局へお勤めになつて居られます通る度毎に御熱心振りを拜見致して居ります
稻田トミ　種々お稽古事を御熱心に遊ばされて居らつしやいます
今井小園　月曜日土曜日に刺繍音樂を習ひに母校に行くのを何よりの樂しみとして居られます
平田シズヱ　當市へお嫁入遊ばしたとか
惠谷綾子　近頃は臺北で鐵道院へお勤めの由
岡田三樹枝　近頃は母君御病身につき毎日御看護につくして居られます
小川アキヲ　別にお變りもなく此の節では家事の事に大變興味を持つて働いて居らつしやるそうです
大塚英子　相變らず御健かにて毎日草花の手入や讀書琴等で頗る平和に日日を過して居らつしやいます
金川フジヨ　三原の二部を御卒業後お近くの小學校に俸職遊ばして毎日お忙がしくお勤めになつて居られます

木曾ウメヨ　金川樣と同樣に當市の久保尋常小學校で毎日を小さき生徒と共に過して居られます

島　秋子　名古屋の方へお嫁ぎ遊ばされました御樣子お知らせ下さいませ

小山春子　やはり學校へ種々御研究に行つて居らつしいます

鳴田貞子　近頃は三次の伯母樣の許でお裁縫等を御熱心にして居られます

島谷美智子　泉谷樣と共に郵便局に勤めて居られます

杉原嘉子　向島で小學校に奉職して居られます先日十人余りの生徒を引卒して居つしやるのを當市でお見受け申しました

井手利惠　木ノ江の井手家へお嫁ぎ遊ばされました五月頃御良人樣とお二人のお姿を蔭ながら拜見致しました

土屋キミヨ　先頃御養子をお貰ひ遊ばされたと專ら噂さで御座いましたが

中司キヨ　月土の二日に學校に來て居られます

吉本イト　中司樣と同樣にやはり學校に來て居られます

第九回卒業生

赤川梅代　御卒業後御家庭にて家事の手傳の傍らお琴に御熱心だ相です

秋田照子　御忙しい家事のお手傳ひに終日御盡しの由

有地とみよ　小波寄する磯邊のお宅にて畫筆に御親しみ遊す由

安藤多喜榮　慈しみ深き御兩親の御膝元で專ら御病氣の御修養に御盡しです

井上安子　御卒業後御稽古事に御熱心です

石梶春子　東京の職業學校家庭科にて御裁縫に御熱心です

岡田カツヨ　長閑な田舍にて美しき自然に御親みです

岡崎和子　家事の御手傳ひ生花茶の湯などして居られます

小田菊枝　御優しい御兩親の下に御歸りになつて御手傳ひ遊して居らつしいます

葛西壽香　非常に讀書に趣味をお持ちになり御稽古事としては裁縫お琴茶の湯などしてゐられます

加納ウメ

中山美子
田頭トミヱ
共に床しき古都の同志社にて御勉強中です
川ノ上タクヱ　御遠遠路をも御厭ひもなく吉村裁縫所に御通ひです
木曾フクヨ　靜かな市外にて御裁縫の御研究を積んでゐらつしやいます
北村スヱ　福山の補習科にて此の頃はお友達も出來樂しい日をお送りです
桑原好子　寂しき病床に臥して居らつしやいます
小林キヨ　御裁縫に御熱心です
小池幾代　神戸なる御親戚にて刺繍に御熱心です
幸崎きみ子　家事の御手傳に御熱心です
眞田フサ　お優しい姉上と共に家事に御いそしみです
作田久子　東京なる御親戚より府立補習科に御通ひです
阪井久子　東京の伯母君のお宅にてピアノに御熱心です
庄司辰江　叔母上に御別れの後寂しい心をいだいて横濱にてお暮しです御自愛をいのる

篠原靜子　近情承りたし
白賀季子　家事の御手傳をして居らつしやいます
壽美谷包子　東京女子英學塾にて御熱心に御勉強中時々母校にも玉章をいたゞきます委しい事は通信欄を御覽下さい
杉原ヒサヨ　神戸市女子高等技藝學校にて御裁縫に御熱心で居らつしやいます
杉谷加津子　日々遠き御道すがらもおつかれもなう
吉村裁縫所にお通ひです
關原　縫　御卒業後御家庭にて家事の御手傳ひの傍ら御琴の御稽古に御通ひの由
田頭堅子　御卒業後も御變りなく文學とお親しみ遊ばして靜かな田舍にて詩的な生活をつゞけて居らつしやいます
高田シズヱ　長閑な田舍にて樂しい讀書に御耽りの傍ら非常に樂譜にお親しみになり花園の手入茶の湯活花等にも御熱心で居らつしやいます
武田千代子　朝鮮なる伯母様の御許においでになります
高橋庸子　松永より吉村裁縫所まで熱心に御通ひです

高橋昌子　三原師範の二部にて御熱心に御勉强して居らつしやいます時々母校にて御姿を拜見いたします

高橋止志　御近狀承りたし

豊田トミコ　御近狀承りたし

中山照子　可愛らしき御妹樣と御別れの後は寂しき日日を御過しの由御自愛を祈る

西原キヌ　御卒業後東京女子大學にて御勉强中くわしい事は通信欄を御覽下さい

西村愛子　吉村裁縫所にてお裁縫においそしみです

新田宮子　家事の御手傳ひの傍らお琴に御熱心です

西川　長　伯父上の御許にて繪畫をお學びです

箱田歌子　家事の御手傳ひをして居らつしします

秦コトヨ　御卒業の後樂しきお家にて家事の御手傳ひに御熱心で居らつしやいます

橋詰ヨシコ　東京市女子共立職業學校にてお裁縫に御いそしみです

濱口末子　市内第三尋常小學校の先生として樂しい日々を御過しの由

廣田茂枝　津久志村の小學校に御奉職です

久枝房子　栗原村の尋常高等小學校の四年生の女生徒を敎へて居らつしやいます

藤井悅子　家事御手傳ひの傍ら茶の湯お琴生花等を御熱心にお學びです

惠谷悅子　御卒業後惠谷家に御入嫁あそばし裁縫に御熱心です

藤原安子　家事の御手傳の傍ら裁縫お琴の稽古に御いそしみです

宮本宮子　家の御手傳ひに御いそしみです

三浦千代　門司の御両親の御許にお歸りの後は忙しき家事の御手傳や御裁縫の傍らお好きな文學に御親しみで居らつしやいます

三井ツルヨ　家事の御手傳ひに御熱心です

森本正子　忙しい養蠶を御手傳ひです

山形初子　東京女子共立職業學校なる家庭科にて御學びです

吉田サヲ子　吉村裁縫所にてお裁縫をお學びの傍ら本校幹事としてお盡し下さいます

渡邊節子　御卒業後慈しみ深き御両親の御許にて家事の御手傳ひの傍らお琴のお稽古に御熱心です

渡邊アヤ子　母上の御病氣も最早や御全快なされ相變らず家事においそしみです

和田イサヨ　お姉上の御病氣の看護に終日お盡しの傍ら本校幹事として非常にお働き下さいます
赤松千枝　阿蘇節子　石井　圭　生酒　民
岡田清子　加來　實　木曾靜子　小林定子
小林キミコ　小池靜子　佐藤絢子　菅　美子
西岡キミヨ　野田隆子　名越美子　平田靜子
原田久野　松本　榮　森　喜子　樋口春子
吉原久代　吉田道子　佐久間義子
右の二十三名はなつかしい母校にて又々樂しい學生生活を送つて居らしやいます
小濱美代　近情承りたし

同窓會會計報告

同窓會大正八年度決算報告

收入之部

前年度繰越金	五九三、八七〇
利子	二四、一三〇
三宅副會長辞任ニ付會員ヨリ紀念品代トシテ寄附	四二、六九〇
	一二四、〇〇〇
バザー開催ニ付寄附	一六〇、四八〇
岡田幹事謝恩ノタメ會員ヨリ寄附	二五二、〇〇〇
第九回卒業生八四人分會費	六二、七九〇
バザーヨリ殘金返濟	五〇、〇〇〇
校友會ヨリ貸與金返濟	一三〇九、九六〇
合計金	

支出之部

雜費	三三、三七〇
郵税	九、八五〇
眞たま四四五冊代	一一四、〇〇〇
阪本氏紀念品代	一〇、〇〇〇
三宅副會頭紀念品代	五〇、〇〇〇
岡田幹事紀念品代	八五、〇〇〇
バザー雜費トシテ貸與	六二、七二〇
別途合計繰入(基本金)	一三三、〇〇〇
校友會ヘ貸與	一〇〇、〇〇〇
生酒、壽美谷、東三幹事紀念品代	一二、八〇〇
生酒、壽美谷両幹事出張旅費	二〇、〇〇〇

給品部へ貸與	二〇〇、〇〇〇
合計金	八三〇、七四〇
差引殘金	四七九、二二〇
同會基本金報告	
バザー賣上利益	一七五、三五〇
物品寄附賣上高	八〇、六五〇
寄附金	一七四、〇〇〇
合計金	四三〇、〇〇〇

同窓會會則

尾道市立高等女學校同窓會規則

第一條　本會は尾道市立高等女學校同窓會と稱し本部を同校内に置く

第二條　本會は尾道市立高等女學校卒業者を以て組織す

但し半途退學者と雖も希望のものは會員たることを得

第三條　本會の目的は會員相互の交誼を温め親睦を計り兼て知德を進むるを以て目的とす

第四條　本會は尾道市立高等女學校職員並に旧職員を請ひて客員とす

第五條　本會に左の役員を置く

會長　尾道市立高等女學校長を推戴す

副會長　尾道市立高等女學校首席教諭を推戴す

幹事　若干名を置く内三名は尾道市立高等女學校職員中より會長之を委嘱し他は會員の互選による

第六條　會長は本會一切の事を統理す

副會長は會長を補佐し且會長事故あるとき其の代理をなすものとす

幹事は會長の指揮を受け庶務會計及會報に關する事務を處理す

第七條　幹事の任期は二箇年とす

但再選することを得若し中途にて缺員を生したるときは次點者を以つて補缺す

第八條　集會は毎年約二回とす但必要の場合には臨時開會することあるべし

第九條　役員會は必要に應じて之を開く

第十條　本會は毎年一回會報を發行す

第十一條　會員は經常費として入會の際金三圓を納め其他の費用は一切徴集せず

但し集會の際出席會員のみに要する特別費用は出席會員に於て其都度之を納むるものとす

幹事會の決議により左記の規約を設く。

一、本會に支部を設く

二、支部には數名の幹事を置き其地方の會員の取纏に任ずること

三、幹事は其地方會員の消息動靜を毎年一回以上本部に通知すること

四、幹事辞任の際は後任を定め本部に通知すること

五、同窓會幷に母校に對し希望ある時は意見を取纏め本部に申出ること

六、支部以外の者に對しては本部に於て取行ふこと

七、支部に於て經費を要する時は本部に請求すること

支部幷に幹事

一、東京及其附近。來留島カメ　增田由已子　福永千代子

一、大阪及其附近。片山　亮　貝沼　歌　冨永　登代

一、神戸及其附近。橋本　キク　中島　清子

一、廣島及其附近。若山　絹代　政池　つな

一、三成幷ニ本郷。白石ミチコ　池田　花子　渡邊　節子

一、向　島。惠谷ハツヨ　渡里　漂子

一、松永、本郷、今津。高橋　良子　知井　芳子　大塚　英子

一、糸　崎。藤野　松榮　眞田　フミ

■編輯だより

一、校友會誌眞たまとの分離に就て

世運の進歩は一日一時すら停止いたしません、加ふるに近來世界的改造の急潮は生活の上にも思想文藝の上にも其他所有方面に押寄せて參りました。世の進歩改善には能率の增加が必要條件の一つであり、從つて分業が細微の點迄も及ぶ樣になるでありませう。我同窓會も年々發展して參ります。會員の數も約六百名の多數に上りました。先般幹事會を開催いたしました時、此の際本會は獨立して會報を發行したらとの意見が出ました所、新しい試みとして可ならんとの事で今回から獨立發行する事に致しました。獨立發行の第一歩でありますから總てが赤ん坊に出來て居ります故皆樣の御意に副はぬ点が多

々ある事と存じ恐縮して居ります

雜誌名も適當なものを選び度いと存じましたが此回は取敢へず單に會報として發行いたしました。何か特別の誌名を用ふるに就ては皆樣の御意見を伺つた上改めて御報告いたします

一、會員諸姉の住所氏名身分變更に就て

皆樣が卒業せられると歲月と共に御住所氏名身分も御變更が多くなり其際本部の方に御通知がないため會報發行其他通信等を致します場合非常な不便誤謬を生じて困る事が御座います。以後は此等御變更の際には必ず本部幹事宛卒業の回期も記入して御通知の程御願して置きます

本誌會員名簿中不明又は誤謬の分は御自身又は御承知の方至急御通知下さい

會員名簿

第一回卒業生

死亡

東京市本郷區元町明華女子齒科醫學校　天野千代子
尾道市長江町　旧姓生酒　栗村トク
佐伯郡嚴島町　旧姓稻田　生酒コト
尾道市土堂町字佐方　旧姓宇佐　小西サト
伊豫三津濱榮町　旧姓小川　井出上千代花
兵庫縣龍野町　旧姓小倉　辻その
不明　小倉ヒデ
山口縣岩國町魚町　旧姓大田垣　森ハナ
岡山市弓之町四五　旧姓柏原　小田マサヨ
英領カナダヨツシヨン市　旧姓河村　水河光代
臺灣澎湖島池爭公學校　旧姓川崎　久藤初音
備中郡鑑郡帶江村　旧姓桑田　高橋壽子
沼隈郡今津村　旧姓桑田　楠戸エイ
岡山縣瀨戸町　旧姓小西　河本キヌ
名古屋市古池町　旧姓齊藤　岡本ウラ
備中倉敷町　旧姓柳原　野崎コウ
豐田郡上北方村　旧姓眞田　楠戸千代子
芦品郡宮内村佐々木方　旧姓佐々木　長谷川フミ
佐藤オカネ

東京市	死亡	首尾木露子	
東京府下大井町瀧王子四四八〇地	旧姓末田	來留島カメコ	
尾道市土堂町		秋葉勝子	
熊本市妙体寺町五二	旧姓田中	田坂花江	
沼隈郡鞆町		田中ヨシコ	
大阪市北區東野田五丁目	旧姓土屋	伊達房子	
尾道市尾崎町	旧姓富田	内海フジエ	
御調郡市村	旧姓堂野	富田サカ	
御調郡三原町驛前	旧姓中野	堂野エイ	
佐世保市	死亡	中野チトセ	
尾道市米場町野田方	旧姓永井	長安愛子	
同藥師堂町	旧姓野田	橋本信子	
名古屋市板屋町	旧姓平田	野村光	
廣島市大手町二ノ一	旧姓金丸	野村喜代子	
神戸市葺合町二一〇九番地ノ一	旧姓橋本	楠崎タマ	
山口縣柳井津町	旧姓福島	伊藤菊野	
蘆品郡府中町	旧姓松尾	橋本キク	
廣島市三川町	死亡	神原久枝	
岡山市外鹿田	旧姓山路	松尾初代	
		惠谷クマノ	
		安長フジノ	
		佐藤熊子	

尾道市米場町山下方	旧姓山下	藤居フヂ	
同土堂町	旧姓吉岡	吉岡繁子	
神戸市布引町三丁目三九	旧姓吉原	高田ミキノ	
不明		門田ツネ	

第二回卒業生

尾道市長江町	旧姓阿蘇	阿蘇カヲル	
東京神田區綿町一丁目一	旧姓井上	花本ミチヨ	
不明		伊藤春江	
神奈川縣三浦郡字大津東竹澤	旧姓池田	高邨テルヨ	
東京本郷駒込曙町六番地上ノ二十号	旧姓上田	上田靜江	
尾道市土堂町		宇坪ヒサコ	
不明	死亡	大本コト	
不明		大籔ハナ	
門司市榮町五丁目	旧姓梶田	岡セキノ	
御調郡吉和村		梶田ウメノ	
尾道市坊地	旧姓木原	古谷スエヨ	
米國シヤトルメン街六〇二東洋商會	旧姓木曾	村上トミ	
不明		繁田チヨ	
東京市小石川區雜司谷町一六	旧姓栗井	黑木ノブコ	
尾道市長江町		山根トクノ	
		小林久	

大阪府下西成郡傳法町四丁目	旧姓榊原	岸田滿江	尾道市中濱
尾道市土堂町	旧姓末平	小林キヌ	備前田ノ口町
愛媛縣三津濱堀川	旧姓谷口	池田房子	尾道市久保町
尾道市十四日町	旧姓田坂	田坂マス	東京市
死亡		立上久代	作州眞庭郡落合町
鳥取縣岩見郡美保村字古市	旧姓高田	稻田玉子	
高田郡吉田町	旧姓豊田	井口八重子	死亡
府中町	旧姓中川	中川秀子	尾道市久保町
不明		池龜琴	同土堂町
尾道市中濱	旧姓平岡	三阪玄子	同久保町
東京府下瀧ノ川田端	旧姓平岡	平田敬子	東京市本郷區湯島五丁目七番地
兵庫縣須磨町大字	旧姓日高	堀江直子	下關安部女學校下
神石郡仙養村	旧姓松浦	松浦コワサ	尾道市
尾道市久保町	旧姓横	大西タミ	尾道市土堂町
神石郡來見村時安	旧姓三上	吉岡ソネ	山口町道場門前
不明		鵜田フミヨ	尾道市土堂町
佐賀縣西松浦郡大山	旧姓村上	平瀨ノブ	京都市上京區夜笠天神森町四一
御調郡美郷村	旧姓山本	竹之上コチヨ	廣島市此治山町原町
豊田郡瀬戸田町	旧姓横山	大泰寺靜江	御調郡三原町
東京市麹町區飯田町一ノ八		渡邊キヨ	大阪府西成郡今宮町

旧姓池尻	三阪カメ	旧姓谷本	蘆品郡府中町
旧姓稻田	與田ノブ	旧姓	加茂郡遺賀村
旧姓大山	小川ノブ	旧姓德山	
旧姓柏原	松尾ナヲ	旧姓永田	
	金田菊代	旧姓鍋島	
	金谷田鶴	旧姓鍋島	
旧姓楠生	九十九キヌ		
	楠生ミネ		
	栗原フサ		
	兒玉喜代子		
旧姓小山	杉野リウ		
旧姓佐藤	橘高キミヨ		
	江川ヒサヨ		
	壽美谷タカコ		
旧姓田中	宮戸竹代		
	田阪幾世		
	長藤春子		
	佐々木ヤツヨ		
	神原ルイ		
	海老谷悅		
	高橋シゲル		
	日山キヌエ		

第三回卒業生

大阪府天下茶屋本通三丁目　旧姓四村　多田憲代
廣島市國泰寺町　納見チトセ
鳥取縣境港　旧姓野村　藤田禧子
廣島市堺町　旧姓林　河野クニ
尾道市土堂町　旧姓原田　長尾千代
尾道市十四日町　旧姓原田　原田政野
廣島市國泰寺町　政池つな
御調郡土生町　旧姓　松森つや
岡山市三番町四八　旧姓正木　後藤春子
尾道市久保町　旧姓三熊　三熊小里
鹿兒島平野町　旧姓三井　松浦雅子
越智郡生名村　旧姓村上　村上下枝
三原西町　旧姓村上　島田ツルヨ
岡山市外大野村字首部　村上ヤス
沼隈郡高須村　村上ハルヨ
東京市神田錦町三丁目　旧姓山科　増田申己子
東京市神田　旧姓山本　山口ツネヨ
廣島市新川塲　旧姓吉池　若山帛世

第四回卒業生

不明　旧姓市川　青野セツ
御調郡坂井原村　旧姓井手　尾田コワサ
岡山市中筋四百十番　永原セネノ

德島縣那賀郡椿泊港　田村ミチ
神戸市榮町四丁目三四清和商會内旧姓今井　中島清子
尾道市尾崎町　植田キクノ
備中玉島町　旧姓宇都宮　宮本エン
御調郡三原女子師範學校　小川春江
尾道市久保町　旧姓岡田　鞍掛トヨノ
御調郡糸崎町　旧姓兼森　赤石シゲヨ
尾道市十四日町　旧姓熊丸　村上ミツエ
不明　旧姓兒玉　村上ヨシ
尾道市中濱　旧姓小西　小西ハル
同市久保町　小松フサ
芦品郡宮内村　佐々木豊野
御調郡向島　下川小雪
支那安東縣新市街四番通四ノ四　旧姓末田　戸木ヒサノ
基隆曾仔察陸軍官舍　旧姓武田　時山マサヨ
御調郡栗原村　高垣シゲノ
大分縣西國東郡高等女學校　立神タネ
福岡縣若松市三内町三丁目柏原善藏方　柏原ミユキ
松江市雞賀貴定町　旧姓永井　倉井恒子
御調郡向島　中司カツエ
尾道市十四日町　野村アサ
播磨印南郡土莊村　旧姓林　大西良

尾道市久保町正言　旧姓福原　福原カヨ
御調郡三原町登町　旧姓藤原　森安フジノ
尾道市十四日町　松井エイ
朝鮮平壤東町覆審法院官舎　三井敏子
不明　旧姓三次　小寺イチ
尾道市十四日町　旧姓宮地　惠谷清子
因島土生　旧姓新田　新田ヒサ
大阪市外奥天神下　旧姓宮崎　片山亮
因島土生長崎　旧姓村上　砂取カヤ
沼隈郡鞆町　死亡　村上ミチ
尾道市十四日町　死亡　村上ヨシ
青島市市場通二丁目　旧姓本森　毛利エキノ
東京市本所區横川町三七　旧姓吉岡　藤野喜美代
不明　旧姓久田　堀内好
尾道市十四日町　旧姓石原　石梶イソ
大阪市西區三軒家上ノ町　村井タマヨ
臺北竜口街四ノ三四　死亡　泉隆
尾道市十四日町　旧姓井出　村井テツ
東京市神田三崎町三丁目一番地　旧姓井上　井上タキ
賀茂郡東志和村　旧姓入江　和田ヒデヨ
御調郡向島　三宅マツミ
尾道市長江町　惠谷ヨシコ
大阪府下東成郡字國分九六　稲田フサ
御調郡向島　旧姓惠谷　井上安子
加茂郡竹原町　旧姓惠谷　橋本ハナエ
御調郡向島　日下春子
尾道市土堂町　惠谷ハツヨ
大阪市南區安堂寺橋通一丁目　旧姓大山　上野ユキエ
尾道高等女學校　村田芳枝
不明　死亡　岡田ヨシエ
尾道市大宮町　岡田カツヨ　大部松枝
臺灣恒春街登記所内　旧姓金子　加藤静枝
御調郡木庄村木門田　旧姓神田　野村輝子
不明　旧姓吉川　上田ハルエ
高橋モト

第五回卒業生

尾道市長江町　旧姓安保　阿蘇シズヨ
神戸市外岩屋一一七　長谷川ナヨ
御調郡向島　旧姓安保　佐藤キクノ
尾道市長江町　旧姓安保　清水コトヨ
東京市外品川町本宿一七　池田澤子

東京音樂學校	楠生	フミ	外沙河口十五丁目五七	旧姓土井
尾道市久保町	鞍掛靜子		沼隈郡鞆町	藤井ナホ
豊田郡本郷村	黒川美佐代		御調郡下川邊村	德永ユキヱ
尾道市西御所	小林イチ	旧姓黒川	御調郡因島	旧姓德毛
沼隈郡田島村	河野キヌヱ	旧姓小林	御調郡美郷村	佐伯ミサホ
尾道市中濱	小西シヅ	旧姓河野	旧姓永井	村上チサト
東京府下田端六一三	藤井清子	旧姓佐伯	朝鮮京城明治町	西永ミサヲ
熊本市細工町	杉原エツ	旧姓相良	東京市大久保町	西本ヒサヨ
沼隈郡高須村	武内キヌヱ	旧姓清水	姫路市瀧野町四丁目九	旧姓林
神戸市熊内町二四ノ八	高原千代鶴	旧姓砂川	東京市牛込區柳町廿一	原歌子
上海四川路壹号江商株式會社支店旧姓杉本	落久保愛子		伊勢國桑名町	平野たまえ
死亡	杉谷シヅヱ	舊姓大	東京市外大森八景坂	旧姓福島
不明	小出秀子	旧姓川本	尾道市土堂町	死亡
向島江奥段入	吉原フクヨ		同久保町	樋口繁子
死亡	金丸君子	旧姓高橋	賀茂郡竹原町榮町	舊姓藤田
神戸市外西灘森七八	奥田トシヱ		福山市四町	豊田セイ
岡山縣和氣郡熊山村	武本カメミ	旧姓田中	東京市牛込區通寺町六五	藤田ツギ
尾道市久保町	田中喜久惠		吳市藏本町	旧姓松本
御調郡美郷村	高橋春子		沼隈郡高須村	清浦智惠
愛媛縣新井郡神郡村	瀧迫芳子		御調郡美郷村	正木フサ
御調郡向島	高シヅ子		因島外ノ浦	松本千枝
横須賀市潮區四三〇	清水福子	旧姓塚本		旧姓村上
				高橋美津枝
				旧姓村上
				入江ヒサノ
				舊姓山下
				八杉イソヨ
				死亡
				岡田秀子
				舊姓山口
				山根トシ子
				旧姓吉田
				高田アサコ
				行友房子
				吉田キクヱ

大阪市北區堂島北町　旧姓米田　山根サダ
尾道市土堂町　旧姓吉原　吉原艶
御調郡向島立花村　吉本ナミコ
同東村　吉光テルヨ
同三原町　旧姓渡里　小池貞子
同向島　渡里漂子

第六回卒業生

尾道市長江町　阿蘇ケイ
奈良女子高等師範學校寄宿寮内　池田マサコ
御調郡三原町西町　池田花子
吳市長ノ木町一三三　旧姓石岡　平芳子
御調郡向島東村　石井秀子
不明　旧姓井田　松岡キミ
東京市芝區三田四國町日本電機株式會社内　井上敏子
蘆品郡近田村　井上一枝
神戸市石井町三丁目二六　旧姓井上　堀田壽子
蘆品郡近田村　井上千里
御調郡河内村　内海ツタヨ
尾道市十四日町　岡田千代
沼隈郡今津村　小川キミヨ
神戸市大井通り　旧姓大久保　村上文子

尾道市土堂町　大久保清子
尾道市久保町　大西千代子
岡山縣阿哲郡熊谷村　大西敬世
松山市木屋町　旧姓上月　笠置學子
御調郡美郷村　笠井ツル
深安郡神邊村　舊姓川ノ上　今西ヤエコ
大阪市東區系屋町一ノ一二　旧姓木梨　行廣キミヨ
山口縣柳町山根參千番地　旧姓杉原　村上ミサカ
尾道市土堂町　木曾章子
兵庫縣武庫郡蘆屋村聖使女學院内　木曾アサコ
尾道久保町四國寺下　栗原マツノ
同長江町　兒玉千賀子
御調郡中庄村　小林シゲコ
同三原町　白石ミナ子
豊田郡忠海町　旧姓島谷　碓井敏江
大阪市北區上福島中一丁目五一五番　仙田敏子
尾道市土堂町　田中千代乃
沼隈郡浦崎村　舊姓田頭　田頭スミ
同　旧姓田頭　田頭花江
尾道市久保町　高竹ヨシ
同土堂町　旧姓高橋　高橋正子
同長江町　高村照子
御調郡重井村砂原　舊姓高岡　大西動

尾道市土堂町　旧姓武田　竹田トミコ
福山市西町　竹尾ヒサ
沼隈郡蔀江村　谷　靜香
吳市中通り四丁目　旧姓檀上　田村マツヨ
沼隈郡浦崎村　旧姓檀上　廣上リツ子
愛媛縣新居郡新居濱　松岡ハツヨ
御調郡吉和村　津田田鶴
岡山縣川上郡手荘村字地頭　中村シヅヨ
岡山縣淺口郡鴨方　旧姓長尾　那須隆江
死亡　田邊タマ
御調郡向島　濱井ヨシカ
尾道市久保町　花咲サカエ
御調郡向島西村　旧姓牛田　花咲貞子
尾道市土堂町　旧姓廣川　吉井政子
東京市本郷區元町二ノ三六金子孝次方　岩崎イト
愛媛縣新居濱町立實科高等女學校内　平井淳子
尾道市久保町　檜垣保世
同　土堂町　東一枝
同　長江町　旧姓平岡　平田スガ
東京市麹町區五番町女子英學塾　平岡重子
御調郡栗原村　福永千代子
細谷ワタヨ

尾道市土堂町　旧姓三谷　兒玉禎子
岡山縣牛窓町　旧姓村上　高祖純子
神戸市大井通り附屬八六　旧姓村上　小川サダ
不明　旧姓村上　野瀨貞子
尾道市土堂町　村上ハルコ
御調郡三庄村　毛利トキノ
愛媛縣今治町本町一丁目　旧姓本森　森谷千代
尾道市長江町　山本喜代
岡山縣淺口郡里庄村　旧姓深井　浦岡辰
御調郡河内村　藤井タキ
尾道市土堂町　吉原美代
死亡　和田波子
御調郡三原町　脇貞子
沼隈郡柳津村　渡邊シゲノ

第七回卒業生

御調郡諸田村　相原操
不明　安藤富子
臺灣基隆田寮港一五二　旧姓岩崎　宇佐照子
福山市東町　井上ヒサ
尾道市久保町　今井高代
滿洲撫順吉野町己ノ五一　島住ヨリ
尾道市土堂町海岸通り　旧姓内海　上野綾子

尾道市土堂町平野内　上野　薫
同　旧姓岡崎　大久保　季子
東京市外千駄ヶ谷八九七　木田　淑子
大阪市南區天王寺華ヶ崎町
日本赤十字社第二寄宿舎　岡野　コクエ
東京市本郷區湯島東京裁縫女學校寄宿舎　岡本　繁子
大阪市南區難波新川一丁目七〇三　貝沼　歌
不明　金子　静枝
沼隈郡今津村　川本　キヌ
御調郡吉和村　加納　文子
大阪市外茨面電車院線服部　旧姓木村　山口　アヤ
御調郡吉村福地　國近　ヒデノ
尾道市久保町　楠生　幸江
同　上月　康子
沼隈郡山波村　旧姓小林　小林　君代
不明　作田　定代
愛媛縣越智郡弓削村字さしま　繁村　マツ
尾道市土堂町　壽美谷　重子
和歌山市東布經町一ノ一　高橋　楠子
岐阜縣本巣郡船木村　高橋　照
御調郡向島西村有井　高橋　トミコ
沼隈郡松永町　高橋　良子
尾道市土堂町外濱　高垣　當子

尾道市土堂町寶土寺内　高山　敏江
同　益田裁縫所内　竹部　キヌエ
尾道市土堂町　田坂　小竹
沼隈郡今津村　旧姓坪田　坪田　菊枝
豊田郡河内村　旧姓富永　中山　登代
福岡縣直方町明治町　旧姓富安　沼田　艶子
御調郡向島東村字多　死亡　土井　タミ
中山　静子
尾道市十四日町　原田　シヅコ
沼隈郡山波村　橋本　順子
御調郡糸崎町　旧姓濱中　濱原　静野
沼隈郡今津村　旧姓平櫛　濱中　瀧江
姫路市瀧野町四丁目九　平櫛　ミツヨ
尾道市久保町　平野　あい
同　土堂町　東　芳枝
御調郡糸崎町　旧姓藤野　福島　喜代子
尾道市十四日町長前　藤野　松榮
同　藥師堂町　細谷　滿子
下關市上田中町一二七七　松本　ヨシノ
尾道市久保町淨土寺道　丸山　ケイ
同　尾崎町　宮邊　フミ
宮本　綾子

大阪市天王寺勝山通一丁目小林方　惠谷綾子
御調郡田熊村　岡田三樹枝
愛媛縣越智郡生名村　小川アキヲ
芦品郡驛家村中島區　旧姓村上　岡本綾キ
尾道市久保町　岡本登貴子
廣島市國泰寺外八八ノ四　旧姓和田　越智コウ
御調郡向島東村兼吉　大塚英子

第八回卒業生

東京市本郷區眞砂町十五小口德三郎內　村井駒
御調郡吉和村　村上キヨコ
尾道市土堂町　村上小枝
東京市外南品川五ノ七三川越內　三好文代
尾道市十四日町　山根定子
笠岡町新入川　中井イキヨ
福山市今町　渡里常子
沼隈郡本郷村　阿部辰子
尾道市米場町　天野和
尾道市十四日町　青木千代
同　青木ヨシヨ
同　池田卓代
同　長井清子
同　石井貞子
同　石井房子
同　泉谷カト
同　井手仲の
同　稲田トミ
同　今川好美
同　今井小園
同　平田シズエ
同　尾崎町　旧姓石原

台北紹案街　大村幸子
尾道市十四日町　片山ダイ
御調郡栗原村　片山政子
不明　金川フジエ
尾道市久保町　川上テルコ
京都府立第一高等女學校　上川カナヨ
沼隈郡東村　旧姓大塚　亀田春子
尾道市十四日町　亀山雪子
沼隈郡山波村　岸田道惠
兵庫縣武庫郡御影町東明二九八　木曾ウメヨ
沼隈郡東村尋常小學校　木村八重子
尾道市久保町　國貞喜美子
御調郡向島兼吉　桑原英子
御調郡栗原村　黒瀬古乃枝
東京淺草村木町四番地　兒王益子
尾道市十四日町
御調郡向島東村
尾道市土堂町
同
同
同　十四日町
御調郡向島

名古屋市外千種町　旧姓小森　島　秋子　尾道市西御所
尾道市久保町　小山春子　同　久保町
尾道市久保町　榊原菊枝　沼隈郡本郷村
双三郡三次町山下篤郎内　佐藤清子　御調郡向島
尾道市土堂町　鴨田貞子　尾道市十四日町
御調郡向島　島谷美智子　東京市
不明　旧姓高橋　杉原嘉子　尾道市土堂町
御調郡向島　渡邊秀子　同　東御所町
不明　高原フクヨ　深安郡横尾
神戸市中表通一丁目八四番地下村文次郎内　武内由譽　中城尋常小學校
廣島縣豊田郡木ノ江　武田美代　御調郡栗原村
御調郡向ヶ峠　旧姓田中　井手利惠　賀茂郡高屋村
御調郡向島東村　土屋キミヨ　尾道市土堂町
沼隈郡山波村　中司ウメヨ　同　西御所町
御調郡向島東村　中司キヨ　京都同志社女學校常盤寮
尾道市十四日町　中司ミツコ　尾道市久保町
御調郡栗原村　中西照子　御調郡向島西村
沼隈郡金江村　中村喜代　尾道市久保町
御調郡向島東村　箱田政枝　御調郡栗原村
沼隈郡西村　旧姓橋本　松本秀子　同　美郷村
東京市本郷區元町二ノ三六金子孝司内　土生逸子　豊田郡須波村
平井和子　尾道市久保町

廣角サキ　藤本キミコ　松山若枝　水川八重子　村上房子　村上ユキヨ　吉村ミツノ
普家春代　部谷富子　三浦テイ　水野好野　村上ハマ　本森芳江　行友文代
藤野安　松岡榮　水戸川庫子　三村千代子　村上ミサコ　安本クマヨ　吉本イト
村上ミチ

尾道市久保町
同　土堂町

第九回卒業生

尾道市久保町　吉井千代子
尾道市米場町　和久艶子
尾道市四御所町　赤川梅代
御調郡市村字市　秋田照子
尾道市高等女學校寄宿舍　有地トシヨ
尾道市長江町　安藤多喜榮
同　赤松千枝
尾道市高等女學校寄宿舍　阿蘇せつ
尾道市土堂町　生酒民
東京女子共立職業學校　石井圭
沼隈郡高須村　井上安子
尾道市土堂町　石梶春子
尾道市久保町　岡田カツヨ
尾道市久保町　岡崎和子
御調郡管野村　岡田清子
尾道市久保町　小田菊枝
同　葛西壽香
京都市同志社女學校　加來實
沼隈郡高須村　加納ウメ
尾道市十四日町　川上タクエ
木曾靜子

尾道市西濱町　木曾フクヨ
福山市吉津町　北村スエ
神戸市　小池幾代
尾道市土堂町　桑原好子
沼隈郡千歳村　小林キヨ
尾道市久保町　小林キミ子
尾道市高等女學校寄宿舍　小池靜乃
尾道市久保町　小林定子
東京市　小濱美代
御調郡三原町　幸崎きみ子
尾道市長江町　佐藤絢子
御調郡糸崎町　眞田フサ
東京市青山　作田久子
東京市牛込區原町二ノ六六　阪井久子
尾道市久保町　佐久間義子
横濱市山手町六六官舍　庄司辰江
尾道市土堂町　篠原靜子
尾道市久保町　白賀秀子
東京女子英學塾　壽美谷包子
神戸市高等技藝　杉原ヒサヨ
沼隈郡高須村　杉谷加津子
尾道市十四日町　管美子

尾道市土堂町
愛媛縣越智郡下弓削村
京都市同志社女學校
芦品郡新市町
朝鮮
沼隈郡松永町
三原女子師範
御調郡浦崎村
同　糸崎
尾道市久保町
京都同志社女學校
尾道市東御所
東京市日本女子大學
御調郡向島
同　吉和村
尾道市久保町

同
沼隈郡金江村
御調郡宇津戸村
尾道市久保町
東京市女子共立職業校

關原　縫　尾道市土堂町
田頭堅子　世羅郡澤久志村
田頭トミエ　尾道市十四日町
高田シズエ　尾道市高等女學校寄宿舍
武田千代子　尾道市外新濱町
高橋庸子　福山市下魚屋町
高橋昌子　尾道市十四日町
高橋止志　同　土堂町
豊田トミコ　同　十四日町
名越美子　同　土堂町
中山美子　門司市日ノ出町八丁目
中山照子　沼隈郡高須村
西原キヌ　尾道市長江町
西村愛子　御調郡向島東村
西岡キミヨ　東京女子共立職業學校
新田宮子　尾道市久保町
西川長　同　土堂町
野田隆子　同
箱田歌子　御調郡三原町
秦コトヨ　尾道市久保町
原田久野　同
橋詰ヨシコ

濱口末子
廣田茂枝
樋口春子
平田靜子
久枝房子
藤井悅子
惠谷悅子
藤原安子
松本榮
宮本清子
三浦千代
三井ツルヨ
森喜子
森本正子
山形初子
吉田道子
吉田サワ子
吉原久代
渡邊節子
渡邊アヤ子
和田イサヨ

大正九年十一月五日印刷
大正九年十一月十日發行

（非賣品）

編輯兼發行者　岡田ヨシエ
廣島縣尾道高等女學校內

印刷者　山野佐一
廣島縣尾道市十四日町百九番屋敷

印刷所　廣島縣尾道市十四日町百九番屋敷　三秀舍

發行所　廣島縣尾道市久保町尾道高等女學校　同窓會

1